

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：2 単位

対象学年組：第 1学年 1組～ 6組

使用教科書：（ 新編 現代の国語 大修館書店 ）

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数		
			話・聞	書	読							
1 学期	1 ことばをひらく 【知識及び技能】 主張と根拠などの関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 筆者の主張をふまえて、「現代の国語」の学習に前向きに取り組もうとしている。	・指導事項 評論文読解、漢字の読み書き、語句の意味調べ ・教材 「声の力」 「この春、なにを始めよう」 「コミュニケーションは技術だ」				【知識・技能】 ・主張と根拠などの関係について理解している。【2ア】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。【C1ア】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の主張をふまえて、「現代の国語」の学習に前向きに取り組もうとしている。		○	○	○	5	
	2 日本語を使いこなす 【知識及び技能】 場面や目的に応じた適切な言葉、敬語の正しい使い方、類義語のニュアンスについて正しく理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴をふまえ、場面に応じた適切な言葉や表現を工夫する。 「書くこと」において、場面や目的に応じた適切な言葉を選び、表現のしかたを工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を正しく使い分けることに意欲をもち、言葉を意識して、自らの言語生活を豊かにする。	・指導事項 話し言葉と書き言葉、常体と敬体、敬語、類義語の理解 ・教材 「声を意識しよう」 「正しく書こう」 「正しく読もう」 「ことばを選んで話そう」 「文を整え、文をつなぐ」		○	○	【知識・技能】 ・場面や目的に応じた適切な言葉、敬語の正しい使い方、類義語のニュアンスについて正しく理解している。【1イ】 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴をふまえ、場面に応じた適切な言葉や表現を工夫している。【A(1)ウ】 ・「書くこと」において、場面や目的に応じた適切な言葉を選び、表現のしかたを工夫している。【B(1)ウ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉を正しく使い分けることに意欲をもち、言葉を意識して、自らの言語生活を豊かにしようとしている。			○	○	○	6
	定期考査								○	○		1
	3 わかりやすく説明する 【知識及び技能】 文、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解する。個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学習に取り組み、説明のしかたをとらえようとする。	・指導事項 評論文読解、漢字の読み書き、語句の意味調べ、調べ学習、発表 ・教材 「人間はゴリラとチンパンジーのどちらに近いか」 「ナンバーワンか、オンリーワンか」 ・一人1台端末を活用し、調べ学習、発表を行う。			○	【知識・技能】 ・文、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。【1オ】 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。【2イ】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。【C1ア】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に学習に取り組み、説明のしかたをとらえようとしている。			○	○	○	8

<p>4 聞く力・話す力を育む</p> <p>【知識及び技能】 話し言葉の特徴をふまえ、適切な言葉遣いや表現を理解し、使う。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」において、適切なテーマを決め、必要な情報を収集するためにインタビューのしかたを工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 インタビュー活動に興味をもち、積極的に学習に取り組もうとする。</p> <p>定期考査</p>	<p>・指導事項 相互インタビュー、情報の収集と整理</p> <p>・教材 「ミニインタビューをしよう」 一人1台端末を活用し、調べ学習、発表を行う。</p>	○		<p>【知識・技能】 ・話し言葉の特徴をふまえ、適切な言葉遣いや表現を理解し、使っている。〔1イ〕</p> <p>【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、適切なテーマを決め、必要な情報を収集するためにインタビューのしかたを工夫している。〔A1ア〕</p> <p>・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を予想して話の内容や展開、質問のしかたを工夫しながらインタビューを行っている。〔A1エ〕</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・インタビュー活動に興味をもち、積極的に学習に取り組もうとしている。</p>	○ ○ ○	7
<p>5 論理を読み取る</p> <p>【知識及び技能】 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解する。個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学習に取り組み、具体と抽象の関係、具体例の役割、筆者の主張などをとらえようとする。</p>	<p>・指導事項 評論文読解、漢字の読み書き、語句の意味調べ、調べ学習、発表</p> <p>・教材 「水の東西」 一人1台端末を活用し、調べ学習、発表を行う。</p>	○		<p>【知識・技能】 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解している。〔1カ〕</p> <p>・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。〔2イ〕</p> <p>【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。〔C1ア〕</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に学習に取り組み、具体と抽象の関係、具体例の役割、筆者の主張などをとらえようとしている。</p>	○ ○ ○	6
<p>6 伝え合いのレッスン</p> <p>【知識及び技能】 話し言葉の特色をふまえ、相手に配慮した言葉遣い、わかりやすい言葉遣いを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」において、目的に応じて情報を収集、整理し、自分の立場や考えを明確にして、構成や展開を工夫しながら話す。「話すこと・聞くこと」において、議論の広げ方や深め方、結論の出し方を工夫して話し合う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 話し合いの活動に興味をもち、よりよい話し合いをしようとする。</p> <p>定期考査</p>	<p>・指導事項 テーマディスカッション、情報の収集と整理</p> <p>・教材 「テーマを決めて話し合おう」 一人1台端末を活用し、調べ学習、発表を行う。</p>	○ ○		<p>【知識・技能】 ・話し言葉の特色をふまえ、相手に配慮した言葉遣い、わかりやすい言葉遣いを理解している。〔1イ〕</p> <p>【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的に応じて情報を収集、整理し、自分の立場や考えを明確にして、構成や展開を工夫しながら話している。〔A1ア、イ〕</p> <p>・「話すこと・聞くこと」において、議論の広げ方や深め方、結論の出し方を工夫して話し合っている。〔A1オ、2ウ〕</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・話し合いの活動に興味をもち、よりよい話し合いをしようとしている。</p>	○ ○ ○	7
<p>7 説得力を高める</p> <p>【知識及び技能】 主張と根拠の関係や、話の効果的な組み立て方について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 討論をすることに興味をもち、意欲的に取り組もうとする。</p>	<p>・指導事項 討論会、情報の収集と整理</p> <p>・教材 「ミニ討論会をしよう」 一人1台端末の活用し、調べ学習、発表を行う。</p>	○ ○		<p>【知識・技能】 ・主張と根拠の関係や、話の効果的な組み立て方について理解している。〔1オ、2ア〕</p> <p>【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。〔A(1)イ、2ア〕</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・討論をすることに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。</p>	○ ○ ○	7

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科

国語

科目 言語文化

教科：国語

科目：言語文化

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 組～ 組

使用教科書：（新編言語文化 大修館書店）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯に渡って読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数
		話	聞	書	読					
1 言葉と出会う 【知識・技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえる。 【学びに向かう力】 ・言葉についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、日常使っている言葉を見つめ直す。	・指導事項 ・教材「言葉と愛」			○	○	【知識・技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。〔(1)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえている。〔B(1)ア〕 【主体的に取り組む態度】 ・言葉についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、日常使っている言葉を見つめ直すようとしている。	○	○	○	6
2 古文に親しむ 【知識・技能】 ・誰の発言かに注意し、物語の内容を読み取る。 ・漢字の読みと日本の言語文化についての理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価する。 【学びに向かう力】 ・古文を読むことに興味をもち、積極的に音読したり響きやリズムを味わったりする。	・指導事項 ・教材「詩歌を楽しもう」 ・教材「古文への招待」 「いろは歌」 「古文冒頭選」 ・一人1 台端末の活用 等			○	○	【知識・技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。〔(1)ア〕 ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。〔(2)エ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。〔B(1)イ〕 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。〔B(1)ウ〕 【主体的に取り組む態度】 ・古文を読むことに興味をもち、積極的に音読したり響きやリズムを味わったりしようとしている。	○	○	○	6
定期考査					○					1
1 学期 3 漢文に親しむ 【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【学びに向かう力】 ・漢文に興味をもち、訓読に意欲的に取り組もうとしている。	・指導事項 ・教材「訓読のきまり」 「格言」「守株」 ・一人1 台端末の活用 等			○	○	【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。〔(2)ア〕 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。〔(2)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。〔B(1)オ〕 【主体的に取り組む態度】 ・漢文に興味をもち、訓読に意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	7

	<p>4 随筆を楽しむ</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、音読して古文の読みに慣れ、文章の内容を正確に読み取る。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 <p>【学びに向かう力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『徒然草』に興味をもち、作者のものの見方や感じ方を読み取り、自分の考えをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・教材『徒然草』 ・一人1台端末の活用 等 			<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。〔(2)ウ〕 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。〔B(1)ア〕 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。〔B(1)イ〕 <p>【主体的に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『徒然草』に興味をもち、作者のものの見方や感じ方を読み取り、自分の考えをもつとしている。 					7	
	定期考査										1
	<p>5 文化を見つめる</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。 <p>【学びに向かう力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本文化の特徴について筆者の主張をとらえることに興味をもち、日本文化の特色について理解を深める。 ・デザインをとおして、日本文化の特色について自分の考えを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・教材「アナログ的な日本の四季」 			<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。〔(2)ア〕 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえている。〔B(1)ア〕 <p>【主体的に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本文化の特徴について筆者の主張をとらえることに興味をもち、日本文化の特色について理解を深めようとしている。 					6	
	<p>6 現代に生きることば</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 <p>【学びに向かう力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢文に興味をもち、訓読に意欲的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・教材『蛇足』 ・一人1台端末の活用 等 			<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。〔(2)ア〕 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。〔(2)ウ〕 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。〔B(1)オ〕 <p>【主体的に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢文に興味をもち、訓読に意欲的に取り組もうとしている。 					7	
	定期考査										1
2 学 期	<p>7 物語の広がり</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 <p>【学びに向かう力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品に興味をもち、事件の展開や登場人物の行動を読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・教材『伊勢物語』『芥川』 ・一人1台端末の活用 等 			<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。〔(2)ウ〕 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。〔B(1)ア〕 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。〔B(1)イ〕 <p>【主体的に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品に興味をもち、事件の展開や登場人物の行動を読み取るようとしている。 					7	

<p>8 漢文を楽しむ</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 <p>【学びに向かう力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢文に興味をもち、訓読に意欲的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 教材『完璧』 一人1台端末の活用 等 		○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 <p>〔2)ア〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 <p>〔2)ウ〕</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。〔B(1)オ〕 <p>【主体的に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢文に興味をもち、訓読に意欲的に取り組もうとしている。 	○	○	○	6
<p>定期考査</p>			○		○	○		1
<p>9 古人に学ぶ</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 <p>【学びに向かう力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢文に興味をもち、訓読に意欲的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 教材『論語』 一人1台端末 等 		○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 <p>〔2)ア〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 <p>〔2)ウ〕</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。〔B(1)オ〕 <p>【主体的に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢文に興味をもち、訓読に意欲的に取り組もうとしている。 	○	○	○	7
<p>3 学期</p> <p>10 旅への思い</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 誰の発言かに注意し、物語の内容を読み取る。 漢字の読みと日本の言語文化についての理解を深める。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価する。 <p>【学びに向かう力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古文を読むことに興味をもち、積極的に音読したり響きやリズムを味わったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 教材『土佐日記』『門出』 一人1台端末の活用 等 		○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。〔(1)ア〕 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。〔(2)エ〕 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。〔B(1)イ〕 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。〔B(1)ウ〕 <p>【主体的に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古文を読むことに興味をもち、積極的に音読したり響きやリズムを味わったりしようとしている。 	○	○	○	6
<p>定期考査</p>			○		○	○		1
								合計
								70

高等学校 令和8年度（1学年用）教科 公民 科目 公共

教科：公民

科目：公共

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ 第一学習社 高等学校新公共 ）

教科 公共

の目標：

【知識及び技能】主体的に活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】公正に判断する力や合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深める。

科目 公共

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>公共的な空間をつくる私たち</p> <p>【知識及び技能】 自分自身が自主的によりよい公共的な空間を作り出していることとする自立した主体になることが、自らのキャリア形成とともに、よりよい社会の形成に結び付くことを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 公共的な空間と人間との関わり、個人の尊厳と自主・自律、人間と社会の多様性と共通性などに着目して考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間をつくる私たちについて、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</p>	<p>指導事項</p> <p>①社会に生きる私たち ②個人の尊厳と自主・自律 ③多様性と共通性 ④伝統文化とのかかわり ⑤自立した主体をめざして</p> <p>教材 ・ワークシート等 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 学習内容について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 多面的・多角的に考察し、適切に表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 知識の習得に取り組み、ワークシート等の作成をとおして学習内容を整理している。</p>	○	○	○	5
<p>公共的な空間における人間としてのあり方生き方</p> <p>【知識及び技能】 人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 幸福、正義、公正などに着目して考える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間における人間としてのあり方生き方について、選択・判断の手掛かりとなる考え方も活用しながら、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</p>	<p>指導事項</p> <p>①人間と社会のあり方についての見方・考え方</p> <p>教材 ・ワークシート等 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 学習内容について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 多面的・多角的に考察し、適切に表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 知識の習得に取り組み、ワークシート等の作成をとおして学習内容を整理している。</p>	○	○	○	8
<p>1 学 期</p> <p>定期考査</p>			○	○		1
<p>公共的な空間における基本原理</p> <p>【知識及び技能】 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など公共的な空間における基本原理について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 幸福、正義、公正などに着目して考える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間における基本原理をふまえて、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</p>	<p>指導事項</p> <p>①人間の尊厳と平等、個人の尊重 ②民主主義と法の支配 ③自由・権利と責任・義務 ④日本国憲法に生きる基本的原理</p> <p>教材 ・ワークシート等 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 学習内容について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 多面的・多角的に考察し、適切に表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 知識の習得に取り組み、ワークシート等の作成をとおして学習内容を整理している。</p>	○	○	○	7
<p>法的な主体となる私たち</p> <p>【知識及び技能】 法の主体として、関わる現実社会の事柄や課題を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 法の主体として、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</p>	<p>指導事項</p> <p>主題1 法や規範の意義と役割 主題2 契約と消費者の権利・責任</p> <p>教材 ワークシート等 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 学習内容について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 多面的・多角的に考察し、適切に表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 知識の習得に取り組み、ワークシート等の作成をとおして学習内容を整理している。</p>	○	○	○	7
<p>定期考査</p>			○	○		1

2 学 期	<p>政治的な主体となる私たち</p> <p>【知識及び技能】 政治的な主体として、関わる現実社会の事柄や課題を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 政治的な主体として、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</p>	<p>指導事項</p> <p>主題4 政治参加と公正な世論形成</p> <p>主題5 国際社会と国家主権</p> <p>主題6 日本の安全保障と防衛</p> <p>主題7 国際社会の変化と日本の役割</p> <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート等 ・一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】 学習内容について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 多面的・多角的に考察し、適切に表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 知識の習得に取り組み、ワークシート等の作成をとおして学習内容を整理している。</p>	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1
	<p>経済的な主体となる私たち</p> <p>【知識及び技能】 経済的な主体として、関わる現実社会の事柄や課題を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 経済的な主体として、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</p>	<p>主題8 雇用と労働問題</p> <p>主題9 社会の変化と職業観</p> <p>主題10 市場経済の機能と限界</p> <p>主題11 金融のはたらき</p> <p>主題12 財政の役割と社会保障</p> <p>主題13 経済のグローバル化</p> <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート等 ・一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】 学習内容について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 多面的・多角的に考察し、適切に表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 知識の習得に取り組み、ワークシート等の作成をとおして学習内容を整理している。</p>	○	○	○	14
定期考査			○	○		1	
3 学 期	<p>持続可能な社会づくりの主体となる私たち</p> <p>【知識及び技能】 持続可能な社会づくりの主体として、関わる現実社会の事柄や課題を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 持続可能な社会づくりの主体として、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</p>	<p>指導事項</p> <p>①排出権取引を考える～地球環境問題</p> <p>②ベストミックスを考える～資源・エネルギー問題</p> <p>③ゲノム編集を考える～生命倫理</p> <p>④インターネットによる投票を考える～情報</p> <p>⑤フェアトレードを考える～国際社会の課題</p> <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート等 ・一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】 学習内容について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 多面的・多角的に考察し、適切に表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 知識の習得に取り組み、ワークシート等の作成をとおして学習内容を整理している。</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
							合計
						70	

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 数学科 科目 数学 I

教科：数学科 科目：数学 I 単位数：3 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 4 組

使用教科書：（最新数学 I（数研出版））

教科 数学科 の目標：

【知識及び技能】問題を正確に理解し、定義や定理等をもとに式を立てることで適切に計算できる。

【思考力、判断力、表現力等】公式を暗記して計算するだけでなく、その式の成り立ちについて理解している。

【学びに向かう力、人間性等】授業に積極的であり、家庭学習用の課題についても意欲的に取り組んでいる。

科目 数学 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、二次関数、図形と計量、集合と命題、データの分析について、基礎的な知識の習得を目指し、それを活用する力を身に付ける。	数と式、二次関数、図形と計量、集合と命題、データの分析について、事象を数学的に考察する能力や、式の成り立ちについて理解し、またそれを説明できる。	数と式、二次関数、図形と計量、集合と命題、データの分析について、興味・関心をもてるとともに、課題に対しても積極的に取り組める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 数と式 第1節 数と式 多項式の加法、減法、乗法の計算ができるようにする。また因数分解についても簡単なものから思考力を必要とするような問題まで扱えるようにする。 第2節 実数 有理数、無理数の定義を理解させるとともに、有理数である循環小数を分数表記に変換できるようにする。また、根号のを含む式の加法、減法、乗法さらに分母の有理化ができるようにする。	【指導事項】 ・数と式 ・実数 【教材】 教科書：数研出版「最新数学 I」 補助教材：数研出版「3 ROUND数学 I」	【知識・技能】 授業内での発問 課題プリント 【思考・判断・表現】 定期考査 知識の有無に関わらず、問の本質を見抜けているかどうか 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内での発問 課題プリント 理解できなかったとき質問が出来る	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
	第1章 数と式 第3節 1次不等式 1次不等式を解けるようにする。また、文章題を読み解き、1次不等式を立てられるようにする。 第2章 集合と命題 集合と要素の定義、集合同士の関係や、そこから導かれる法則などについて理解させる。さらに、集合で学んだ包含関係が命題の真偽を決定づける重要な役割を持つことについて考察させ、具体的な問題における真偽を判定できるようにする。さらには背理法を用いる証明問題にも取り組めるようにする。	【指導事項】 ・実数 ・1次不等式 ・集合 【教材】 教科書：数研出版「最新数学 I」 補助教材：数研出版「3 ROUND数学 I」	【知識・技能】 授業内での発問 課題プリント 【思考・判断・表現】 定期考査 知識の有無に関わらず、問の本質を見抜けているかどうか 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内での発問 課題プリント 理解できなかったとき質問が出来る	○	○	○	19
定期考査			○	○		1	
	第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ 代表的な点をいくつか取ることで、簡単な2次関数のグラフがかけられるようにする。また、一般の2次関数についても平方完成することで、グラフの概形が決まることを理解させる。そして、その平方完成の計算手法についても習得させる。 第2節 2次方程式と2次不等式 2次方程式・2次不等式と2次関数の関係性について考察できるようにする。そして、問題をグラフの背景を踏まえて解くことができるようにする。	【指導事項】 ・命題 ・2次関数とグラフ 【教材】 教科書：数研出版「最新数学 I」 補助教材：数研出版「3 ROUND数学 I」	【知識・技能】 授業内での発問 課題プリント 【思考・判断・表現】 定期考査 知識の有無に関わらず、問の本質を見抜けているかどうか 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内での発問 課題プリント 理解できなかったとき質問が出来る	○	○	○	20

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科

数学科 科目 数学 I

教科：数学科

科目：数学 I

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 5 組～ 6 組

使用教科書：（改訂版 最新数学 I（数研出版））

教科 数学科

の目標：

【知識及び技能】問題を正確に理解し、定義や定理等をもとに式を立てることで適切に計算できる。

【思考力、判断力、表現力等】公式を暗記して計算するだけでなく、その式の成り立ちについて理解している。

【学びに向かう力、人間性等】授業に積極的であり、家庭学習用の課題についても意欲的に取り組んでいる。

科目 数学 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、二次関数、図形と計量、集合と命題、データの分析について、基礎的な知識の習得を目指し、それを活用する力を身に付ける。	数と式、二次関数、図形と計量、集合と命題、データの分析について、事象を数学的に考察する能力や、式の成り立ちについて理解し、またそれを説明できる。	数と式、二次関数、図形と計量、集合と命題、データの分析について、興味・関心をもてるとともに、課題に対しても積極的に取り組める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 数と式 第1節 数と式 多項式の加法、減法、乗法の計算ができるようにする。また因数分解についても簡単なものから思考力を必要とするような問題まで扱えるようにする。 第2節 実数 有理数、無理数の定義を理解させるとともに、有理数である循環小数を分数表記に変換できるようにする。また、根号を含む式の加法、減法、乗法さらに分母の有理化ができるようにする。	【指導事項】 ・数と式 ・実数 【教材】 教科書：数研出版「最新数学 I」 補助教材：数研出版「3 ROUND 数学 I」	【知識・技能】 授業内での発問 課題プリント 【思考・判断・表現】 定期考査 知識の有無に関わらず、問の本質を見抜けているかどうか 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内での発問 課題プリント 理解できなかったとき質問が出来る	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	第1章 数と式 第3節 1次不等式 1次不等式を解けるようにする。また、文章題を読み解き、1次不等式を立てられるようにする。 第2章 集合と命題 集合と要素の定義、集合同士の関係や、そこから導かれる法則などについて理解させる。さらに、集合で学んだ包含関係が命題の真偽を決定づける重要な役割を持つことについて考察させ、具体的な問題における真偽を判定できるようにする。さらには背理法を用いる証明問題にも取り組めるようにする。	【指導事項】 ・実数 ・1次不等式 ・集合 【教材】 教科書：数研出版「最新数学 I」 補助教材：数研出版「3 ROUND 数学 I」	【知識・技能】 授業内での発問 課題プリント 【思考・判断・表現】 定期考査 知識の有無に関わらず、問の本質を見抜けているかどうか 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内での発問 課題プリント 理解できなかったとき質問が出来る	○	○	○	12
定期考査			○	○		1	
	第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ 代表的な点をいくつか取ることで、簡単な2次関数のグラフがかけられるようにする。また、一般の2次関数についても平方完成することで、グラフの概形が決まることを理解させる。そして、その平方完成の計算手法についても習得させる。 第2節 2次方程式と2次不等式 2次方程式・2次不等式と2次関数の関係性について考察できるようにする。そして、問題をグラフの背景を踏まえて解くことができるようにする。	【指導事項】 ・命題 ・2次関数とグラフ 【教材】 教科書：数研出版「最新数学 I」 補助教材：数研出版「3 ROUND 数学 I」	【知識・技能】 授業内での発問 課題プリント 【思考・判断・表現】 定期考査 知識の有無に関わらず、問の本質を見抜けているかどうか 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内での発問 課題プリント 理解できなかったとき質問が出来る	○	○	○	13

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 理科 科目 科学と人間生活

教科：理科 科目：科学と人間生活 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～6組

使用教科書：（科人002-901 科学と人間生活（東京書籍））

教科 理科 の目標：

- 【知識及び技能】自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、目的意識をもって観察、実験を行う。
- 【思考力、判断力、表現力等】自然の事物・現象に対する化学の基本的な概念や原理法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、科学的に探究する能力と態度を育てる。

科目 科学と人間生活 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	自然の事物・現象を人間生活と関連付けて、問題を見出し、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど科学的に探究している。	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>序章 科学技術の発展</p> <ul style="list-style-type: none"> 科学技術の歴史と発展 エネルギーや情報技術の発展 持続可能な未来のために <p>【知識及び技能】 科学技術の進歩が人間生活にどのような影響をもたらしたかを考え、科学技術が人間生活を豊かに便利にしてくれたことや、人間生活に不可欠であることを理解する。 エネルギーや情報技術の発展について調べ、それらと科学技術との関わりについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 日常生活や社会、未来と、科学がどのようにつながっているのかを考える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 科学技術の発展が今日の人間生活に貢献してきた反面、それによってもたらされた課題があることを知り、持続可能な社会をつくるための取り組みや自分たちにできる活動について調べ、レポートを作成したり発表したりする。</p>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> オリエンテーション 科学技術の流れ 科学技術と生活の結びつき <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 小テスト、ワークシート等 	<p>【知識・技能】 科学技術の発展が人間生活を豊かに便利にしてくれたことや、現代の人間生活に科学技術が不可欠であることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 科学技術が人間生活に果たす役割について、調べたことを基に考察し、表現している</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 科学技術と人間生活との関わりに関心をもち、資料を調べたり、友達と対話したりしながら、科学技術が果たす役割や課題について考えようとしている。</p>	○	○	○	2
<p>第Ⅱ編 物質の化学</p> <p>第2章 衣料と食品</p> <p>第1節 衣料の化学</p> <p>第2節 食品の化学</p> <p>【知識及び技能】 植物繊維がセルロースから、動物繊維がタンパク質からできていることを理解する。 再生繊維や半合成繊維の原料と用途について理解する。 油脂の構造と性質について理解する。 炭水化物は糖類ともよばれ、単糖類、二糖類、多糖類に分類されることを理解する。 タンパク質の変性について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 さまざまな天然繊維の特徴と用途について理解し、それぞれがなぜその用途で利用されているのかを考える。 ふだんの食事にはどのような栄養が含まれているのかを考え、体に必要な栄養素について問題を見いだす。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 植物繊維や動物繊維の利用とその製品の製造の例を通して、繊維に対する興味・関心を高める。 タンパク質の利用とその利用の例を通して、栄養に対する興味・関心を高める。</p>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 身の回りのいろいろな繊維 有機繊維と無機繊維の特徴と有用性 食品に含まれる各栄養素のはたらき 石鹸で汚れが落ちる仕組み 炭水化物、タンパク質の変化 <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 小テスト、ワークシート等 	<p>【知識・技能】 血糖濃度を調節する仕組みについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 既習の内容や生徒経験から問題を見出したり、データをもとに科学的に考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 知識・技能の習得に向けて粘り強く取り組んでいる。ワークシート等の作成を通して自分の学習を調整しようとしている。</p>	○	○	○	8
<p>定期考査</p>			○	○		1

1
学
期

<p>第1編 生命の科学 第1章 人の生命現象 第1節 人の視覚と光による影響 第2節 血糖濃度を調整する仕組み 第3節 体を守る免疫の仕組み 第4節 生命現象の大本となる遺伝子の働き</p> <p>【知識及び技能】 ヒトの目の構造や免疫など体内に関することを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ヒトの体内環境の働きからインスリンや抗体濃度の変化等から働きについて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ヒトの生命現象に関する事象・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。</p>	<p>指導事項 ・視覚の特徴 ・血糖濃度の調整 ・免疫の仕組み ・DNAの遺伝情報</p> <p>教材 ・小テスト、ワークシート等</p>	<p>【知識・技能】 ヒトの視覚が生じる仕組みについて理解している。 安全面や衛生面に留意して実習に取り組み、ブタの眼球について、スケッチや文章で適切に記録している。 炭水化物の消化と吸収や吸収されたグルコースの体内における流れ、血糖濃度について理解している。 免疫の仕組みとしての抗原抗体反応や免疫記憶、それらを利用した治療法について理解している。 DNAの構造や遺伝子とDNAとの関係について理解している。 ヒトの体内には多くの種類のタンパク質があり、それぞれ、生命活動に重要な役割を果たしていることを理解している。 【思考・判断・表現】 活動するためのエネルギー源として炭水化物に着目し、体内での炭水化物の利用に問題を見だし、表現している。 一次応答と二次応答の血液中の抗体濃度の変化のグラフを読み取り、科学的に考察して、免疫記憶の利点を見だし、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 学んだことを生かして、体内時計を維持するための規則正しい生活の重要性について考えようとしている。 糖尿病を防ぐための生活習慣の重要性について考</p>	○	○	○	6
<p>第Ⅲ編 光や熱の化学 第1章 光の性質とその利用 第1節 光の進み方とその基本的な性質</p> <p>【知識及び技能】 光を中心とした電磁波の性質とその利用について、日常生活と関連付けて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 光の性質とその利用について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 光の性質とその利用に関する事象・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。</p>	<p>指導事項 ・光の進み方と基本的な性質 ・光の屈折と分散</p> <p>教材 ・小テスト、ワークシート等 ・一人1台端末の活用 等</p>		○	○	○	2
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>第2節 目に見える光と色の見え方 第3節 目に見えない光とその利用</p> <p>【知識及び技能】 光を中心とした電磁波の性質とその利用について、日常生活と関連付けて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 光の性質とその利用について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 光の性質とその利用に関する事象・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。</p>	<p>指導事項 ・目に見える光と色の見え方 ・目に見えない光とその利用 ・分光器の作成</p> <p>教材 ・小テスト、ワークシート等</p>	<p>【知識・技能】 赤外線や紫外線などの電磁波の種類と性質、それらの利用について人間生活と関連付けながら理解している。 電波やX線、ガンマ線の性質とそれらの利用について、人間生活と関連付けながら理解している。 【思考・判断・表現】 さまざまな光源のスペクトルの観察結果を基に、光源による光のスペクトルの違いを見だし、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学んだことを生かして、赤外線や紫外線の日常生活への利用における長所と短所について多面的に考えようとしている。</p>				20
<p>定期考査</p>						

2 学 期	<p>第IV編 宇宙や地球の科学</p> <p>第1章 太陽と地球</p> <p>第1節 太陽と月がもたらすリズム</p> <p>第2節 太陽が動かす大気と水</p> <p>【知識及び技能】 太陽などの身近に見られる天体の運動や太陽の放射エネルギーについて、人間生活と関連付けて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 太陽と地球について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 太陽と地球に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める</p> <p>定期考査</p>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽と月の周期による変化 ・太陽が動かす大気と水 ・潮位の変化と地球・月・太陽のつながり <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小テスト、ワークシート等 	<p>【知識・技能】 日、月、年という時間単位の定義や意味について、月や地球の運動と関連付けながら理解している。 潮の満ち干と月の引力との関係や太陽、地球、月の位置関係による潮位の変動の周期性、高潮による被害について理解している。 大気の大循環や海流が生じる仕組み、それらによって気候が形成される仕組みについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 既習の内容や生活経験を基に、太陽の放射エネルギーに着目し、太陽の放射エネルギーと大気や気候との関わりの問題を見だし、表現している。 熱帯低気圧や海水面の温度などの資料を基に、台風の発生場所や移動経路の特徴について科学的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 潮位の変化のグラフを分析したり、友達と対話したりしながら、潮位の変化に周期性があることに疑問をもったり、その理由を考えたりしようとしている。 易風や偏西風などの風と人間生活との関わりに関心をもち、主体的に調べて、考えようとしている。</p>				19
3 学 期	<p>第1節 身近な自然景観の成り立ち</p> <p>第2節 自然災害と防災</p> <p>第V編 課題研究</p> <p>第1章 課題の設定と研究の進め方</p> <p>第2章 研究の課題例</p> <p>【知識及び技能】 微生物のはたらきについて、人間生活と関連付けて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 微生物とその利用について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 微生物とその利用に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。</p> <p>定期考査</p>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然の成り立ち ・山地、低地、火山の成り立ち ・自然災害（地震・火山・気象） ・防災 ・研究課題の設定 ・研究結果のまとめと分析 <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート等 ・一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】 自然や科学技術と人間生活との関わりについて、自らの課題研究を基に認識を深めている。 課題研究の内容や進め方などを振り返り、科学と人間生活との関わり方や科学的に探究する方法について認識を深めている。</p> <p>【思考・判断・表現】 既習の内容や生活経験を想起し、自然や科学技術と人間生活との関わりについて課題を設定するとともに、仮説や調べる計画を立て、表現している。 自ら設定した課題について、得られた結果を基に、科学的に考察して結論を導き、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 課題研究に関心をもち、友達と対話しながら、進んで課題を設定し、どのように調べれば課題を解決することができるかを考えて計画を立て、表現しようとしている。</p>				11
	定期考査						70
							合計

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科

保健体育 科目 体育

教科： 保健体育 科目： 体育

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ 大修館書店 現代高等保健体育 ）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】基礎的な動作の習得を目指し、運動の楽しさを実感させる

【思考力、判断力、表現力等】運動の特性を理解した上で、自分の出来ることを積極的に見出すことを目標とする

【学びに向かう力、人間性等】生涯体育につなげるための工夫ができることを目標とし、次年度につなげるようにする

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
それぞれの競技の特性を理解し、基礎的な動作の習得とゲームや試合の攻防を楽しむ態度を身に付ける。	それぞれの競技を実践する中で、何が必要か何が足りないのかを常に考え行動できるようにする。	生涯体育に結び付くように、様々な種目を通じて自己の目標を設定し、積極的に取り組めるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	記録の向上や勝敗を競う楽しさ、喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高める。記録に挑戦する気持ちと、安全性に配慮することを身に付ける。	オリエンテーション 基礎体力作り体づくり運動(12月まで)	【知識・技能】 基本的な動作や方法の理解 【思考・判断・表現】 補強運動の工夫 【主体的に学習に取り組む態度】 種目への積極的な参加	○	○	○	5
	ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開すること。ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開すること。	ネット型対人 バドミントン・バレーボール ゴール型 サッカー	【知識・技能】 各種目の基本動作のチェック 【思考・判断・表現】 ゲームの運営 【主体的に学習に取り組む態度】 種目への参加態度と工夫	○	○	○	8
	実技テスト	各種目 基本動作	知識技能 各種目の動作テスト	○	○		2
	ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開すること。ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開すること。	ネット型対人 バドミントン・バレーボール ゴール型 サッカー	【知識・技能】 基本的な動作や方法の理解 【思考・判断・表現】 補強運動の工夫 【主体的に学習に取り組む態度】 種目への積極的な参加	○	○	○	7
	陸上競技では、個人の目標に向かって基本動作を習得し、記録に挑戦する。水泳では、基本動作の習得、4泳法の習得を目標に展開する。さらに、個人の記録にも挑戦できるように活動する。	陸上競技（ハードル・投てき） 水泳	【知識・技能】 礼法の正確性 基本動作の理解 【思考・判断・表現】 対人動作の理解 【主体的に学習に取り組む態度】 作品制作への参加	○	○	○	8
実技テスト	各種目 基本動作	知識技能 各種目の動作テスト	○	○		2	
2 学 期	陸上競技では、個人の目標に向かって基本動作を習得し、記録に挑戦する。水泳では、基本動作の習得、4泳法の習得を目標に展開する。さらに、個人の記録にも挑戦できるように活動する。	陸上競技（ハードル・投てき） 水泳	【知識・技能】 基本的な動作や方法の理解 【思考・判断・表現】 ゲームの運営 【主体的に学習に取り組む態度】 種目への積極的な参加	○	○	○	10
	ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開すること。ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開すること。	ネット型対人 バドミントン・バレーボール ゴール型 サッカー	【知識・技能】 基本的な動作や方法の理解 各種目の基本動作のチェック 【思考・判断・表現】 ゲームの運営・チームの役割の理解 【主体的に学習に取り組む態度】 種目への積極的な参加	○	○	○	13

3 学 期	<p>自己のスピードを維持できるフォームでベースを守りながら、一定の距離を走りとおし、タイムを短縮したり競争したりできるようにする。 ボール操作と空間に走りこむなどの動きによってゴール前での攻防を展開する。空間認知能力を高め、ラリーを続けることができるようになる。</p>	<p>個人 陸上競技(短距離) 個人 陸上競技(長距離) ネット型対人 卓球</p>	<p>【知識・技能】 基本的な動作や方法の理解 【思考・判断・表現】 フォームの研究 【主体的に学習に取り組む態度】 記録への挑戦</p>	○	○	○	10
	<p>自己のスピードを維持できるフォームでベースを守りながら、一定の距離を走りとおし、タイムを短縮したり競争したりできるようにする。 ボール操作と空間に走りこむなどの動きによってゴール前での攻防を展開する。空間認知能力を高め、ラリーを続けることができるようになる。</p>	<p>個人 陸上競技(短距離) 個人 陸上競技(長距離) ネット型対人 卓球</p>	<p>【知識・技能】 基本的な動作や方法の理解 【思考・判断・表現】 フォームの研究 【主体的に学習に取り組む態度】 記録への挑戦</p>	○	○	○	5
							合計

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育科 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 1組～ 4組

使用教科書：（大修館書店 現代高等保健体育）

教科 保健体育 目標：

【知識及び技能】 健康で安全な生活を送るために必要な知識と取り組みを理解させる

【思考力、判断力、表現力等】 自分自身の健康と周りの人々の健康について具体的に課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し、正しく行動できるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 最新の知識を習得し、生涯を通じて自他の健康の保持増進を目指し豊かで活力のある生活態度を養うようにする。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
単元の課題とその要因について、個人および社会生活や事例などと比較、分類、分析する	それぞれの単元についての理解を深め自分の生活に取り入れるべき事柄を見つけられる	それぞれの単元についての理解を深め積極的に学ぼうという姿勢。人間としての側面について思いやりを持って学習することができる

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	健康の考え方	わが国における健康水準の変化、わが国における健康問題の変化について理解し、説明することができる。健康についての多様な考え方、健康の成り立ちとその要因について理解し、説明することができる。	【知識・技能】 健康の成り立ちとその要因について、個人および社会生活や事例などと比較、分類、分析する 【思考・判断・表現】 健康についての理解を深め自分の生活に取り入れるべき事柄を見つけられる 【主体的に学習に取り組む態度】 健康についての理解を深め自分の生活に取り入れるべき事柄を見つけられる	○	○	○	4
	生活習慣病の予防 運動・食事・休養と健康	健康的な食生活の重要性と意義、健康的な食生活習慣の形成について理解し、説明することができる。健康からみた運動の意義、健康づくりのための運動習慣の形成について理解し、説明することができる。健康からみた休養・睡眠の意義、健康からみたよりよい休養・睡眠のとり方について理解し、説明することができる。	【知識・技能】 健康的な食生活習慣、運動習慣の形成、よりよい休養・睡眠のとり方について理解し生活改善に反映させる具体的方策を作成する。【思考・判断・表現】 生活を改善する方法を実践できるようにする 【主体的に学習に取り組む態度】 レポート作成	○	○	○	4
	喫煙・飲酒・薬物乱用と健康	喫煙の健康影響、喫煙開始の要因と依存性、日本や世界におけるたばこ対策について理解し、説明することができる。飲酒による健康への短期的および長期的影響、飲酒の開始要因と社会問題、飲酒による健康被害を防ぐさまざまな対策について理解し、説明することができる。	【知識・技能】 飲酒・喫煙・薬物乱用の課題解決についてのグループ学習 【思考・判断・表現】 それぞれの課題を発見し、問題提起ができる 【主体的に学習に取り組む態度】 グループ学習	○	○	○	3
	精神疾患の予防	感染症予防の原則、現代の感染症についての個人と社会に分けた対策について理解し、説明することができる。性感染症・エイズとは何か、性感染症・エイズについての個人と社会に分けた予防対策について理解し、説明することができる。	【知識・技能】エイズとHIVの関係、性感染症・エイズの予防法について個人と社会に分けた対策について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、グループで発表 【思考・判断・表現】 感染症についての対策について、現状にはめて考えをまとめることができる【主体的に学習に取り組む態度】 グループ学習 レポート作成	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和8年度(1学年)教科

芸術 科目 美術 I

教科: 芸術

科目: 美術 I

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年 1 組～ 4 組

使用教科書: (『 美術1 』(光村図書))

教科 芸術

の目標:

- 【知識及び技能】 美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心をもち、主体的に取り組む。
- 【思考力、判断力、表現力等】 感性や創造力を働かせ、自然、自己、社会などを深く見つめ、主題を生成し表現方法を工夫し構想を練る。
- 【学びに向かう力、人間性等】 美術作品の表現の工夫や豊かな生き方の創造に関わる美術の働き、美術文化の理解を深め、多様な視点から取り組む。

科目 美術 I

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心をもち、主体的に取り組む。	感性や創造力を働かせ、自然、自己、社会などを深く見つめ、主題を生成し表現方法を工夫し構想を練る。	美術作品の表現の工夫や豊かな生き方の創造に関わる美術の働き、美術文化の理解を深め、多様な視点から取り組む。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				評価規準	知	思	能	配 当 時 数	
		絵 ・ 彫	デ ザ イ ン	映 画	鑑 賞						
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ●美術 I 授業の注意 ・約束事や注意点、授業予定を理解する。 ●鉛筆素描「基本形を描く」 ・鉛筆素描の基礎を学ぶ。 ・空間表現や光の設定を意識し、立体感・質感の表現を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・座席決め。 ・授業時の決まりと授業計画、注意点を理解する。 ・ケント紙と画用紙の種類、裏表など理解する。 ・鉛筆の種類を理解し、濃淡による表現(グラデーション)をハッチングと塗り込みで練習する。 ・立方体、円筒形、球体を描く。 ・輪郭だけではなく中の形、光と影を意識する。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 ・静物デッサンなどでは複雑な形を単純化し、基本的な形に整理することが大切であることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・三次元の空間を2次元の画面に表現するための工夫ができる。 ・描写するものに合った構図や、形の捉え方を理解し表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に表現方法を工夫し追究する姿勢を持って取り組んでいる。 	○	○	○	4
	<ul style="list-style-type: none"> ●デザイン基礎「色彩」 ・アクリルガッシュとその使用方法を理解する。 ・色の三属性(色相、明度、彩度)を理解する。 ・色のバリエーション(純色、清色、濁色)を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アクリルガッシュの特性を理解する。 ・基本的な色彩、赤、青、緑、黄でマンセル色相環を描く。 ・色の三要素(明度・彩度・色相)を学ぶ。 ・PCCSトーンの種類を学び、自分の好きな色相でそのグラデーションを描く。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 ・ワークシート上に規則的で美しい明暗階調を作成できている。 【思考・判断・表現】 ・それぞれの色彩の特徴を理解し、色彩の見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に色彩の特徴を理解しようとしている。 	○	○	○	8
	<ul style="list-style-type: none"> ●風景を描く ・心に残っている情景や目の前の風景から感じ取った印象から画面を構想する。 ・風景から感じ取った印象を形や色に置き換え、再構成して表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書「風景を描く」から身近なものを描くことに感心を持つ。 ・自分が描きたい風景とは何か、資料を収集し、アイデアスケッチを行う。 ・下描きする。 ・アクリル絵の具で着色を行う。 ・油絵具のような深みのある発色にしたいため、下塗りを補色系の色彩を使用するなど工夫する。 ・大まかに色をのせる。 ・色を重ね、影を描き形を起こす。 ・遠近感を捉えて描きこむ。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 ・自分の描きたいと感じた風景には、自分の内面が介在していることを認識し、形や色、質感などが感情にもたらす効果を理解している。 【思考・判断・表現】 ・学校や通学路、家の近所など身近な場所に自分がどこに心動かされ、何を表したいのか考え、工夫して表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に身近な風景を見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどを基にした表現の創造活動に取り組もうとしている。 ・意欲的に取り組んだか。 ・粘り強い制作態度が取り組めたか。 	○	○	○	16
<ul style="list-style-type: none"> ●鉛筆素描「ワイン瓶を描く」 ・瓶が透けて見える姿や瓶に写り込んでいる様子などしっかり観察する力と描写力を見に付ける。 ・目線の高さに消失点を置き、遠近感のあるパースを理解する。 ・光の方向性と影の傾き、陰影を捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書「静物デッサン」から鉛筆デッサンの準備を行う。 ・画面に中心線を引き、位置関係を図りながら、画用紙に対するモチーフの大きさを考え、構図を決める。 ・光の方向を捉えて細部にこだわらず大まかな陰影を付ける。 ・質感を捉えて描き進める。 ・透明感の表現を練り消しゴムや角を尖らせた消しゴムで消してハイライトを描きこむ。 ・鉛筆の硬さや濃さ、タッチの強弱などで硬さや柔らかさなどの質感を描きわける。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 ・形や色、質感、量などを鉛筆で表現する工夫をして創造的にあわわしている。 【思考・判断・表現】 ・形態、バランスを観察。・輪郭だけではなく、瓶の中の形を意識して表現しようとしている。 ・立体感、質感が出てくるように鉛筆で描きこみ、消したり描き加えるなど何度も試行錯誤し工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に描画材料の特徴を理解し、表現する力を高めようとしている。 ・より良い作品を作るために試行錯誤を重ねる姿勢を持つことができる。 	○	○	○	8	

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教科：外国語 科目：英語コミュニケーションⅠ 単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 1組～6組

使用教科書：（数研出版 Revised COMET English CommunicationⅠ）

教科 外国語 の目標：

- 【知識及び技能】英語でのコミュニケーションに必要な英文法の基礎を習得する。
- 【思考力、判断力、表現力等】英語で相手の考えを理解し、自分の考えを円滑に伝えられるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】相手と積極的に英語でコミュニケーションを図る意欲を育てる。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語を用いた言語活動を通して、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識及び技能を身に付ける。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。	自分が使える表現を使って、積極的にコミュニケーションを取ろうとする態度と、自ら学ぼうとする意欲を持つことができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）	書					
1 学 期	Lesson 1・2 【知識及び技能】過去形や進行形の用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】まとものある英文を書いたり、話し合ったりしている。 【学びに向かう力、人間性等】内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。	【指導事項】基本5文型・現在形・現在進行形・過去形・過去進行形を用いた表現 【教材】教科書・ワークブック・単語集	○	○	○	○	○	○	○	○	18
	定期考査						○	○		1	
	Lesson 3・4 【知識及び技能】動名詞や助動詞の用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】まとものある英文を書いたり、話し合ったりしている。 【学びに向かう力、人間性等】内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。	【指導事項】助動詞・受け身・不定詞・動名詞を用いた表現 【教材】教科書・ワークブック・単語集	○	○	○	○	○	○	○	○	18
定期考査							○	○		1	
2 学 期	Lesson 5・6 【知識及び技能】動名詞やthat節の用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】まとものある英文を書いたり、話し合ったりしている。 【学びに向かう力、人間性等】内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。	【指導事項】助動詞・受け身・不定詞・動名詞を用いた表現 【教材】教科書・ワークブック・単語集	○	○	○	○	○	○	○	○	20
	定期考査						○	○		1	
	Lesson 7・8 【知識及び技能】現在完了形や受け身の用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】まとものある英文を書いたり、話し合ったりしている。 【学びに向かう力、人間性等】内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。	【指導事項】現在分詞・過去分詞・関係代名詞・関係副詞を用いた表現 【教材】教科書・ワークブック・単語集	○	○	○	○	○	○	○	○	20
							○	○		1	

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 情報 科目 情報 I

教科：情報 科目：情報 I 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（図説 情報 I（改訂版） 実教出版 ）

教科 情報 の目標：

【知識及び技能】 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目 情報 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身に付けているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関りについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
オリエンテーション 序章 情報社会と私たち 【知識及び技能】 情報技術や情報社会について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自らを客観的に振り返る。	履修と修得、評価について ・既存の知識で情報社会、情報技術、情報社会における個人の責任について理解し、これからの深い学びに関心をもつことができるようにすること。 ・KJ法を用い班別課題を行い、発表を行う。 【教科書、ワークシート、端末】	【知識・技能】 ワークシートや補助資料をとおり、めあての学習項目を理解している。与えられた課題に対し自らの考えを記している。 【思考・判断・表現】 事例や例題を自身で考えたり、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートを効果的にまとめる、発問を行うことや、自己評価 (Forms) を行い、自らを客観的に振り返ることができる。	○	○		5
1 章 情報社会と問題解決 【知識及び技能】 情報社会と問題解決、情報セキュリティについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自らを客観的に振り返る。	・「情報」や「問題」という言葉の定義を理解し問題を発見するとともに問題の明確化を行うことができるようにすること。 ・問題解決について理解するとともに、様々な解決法をとおし適切に活用できるようになること。 【教科書、ワークシート、端末】 ※自学自習用で外部教材利用	【知識・技能】 ワークシートや補助資料をとおり、めあての学習項目を理解している。与えられた課題に対し自らの考えを記している。 【思考・判断・表現】 事例や例題を自身で考えたり、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートを効果的にまとめる、発問を行うことや、自己評価 (Forms) を行い、自らを客観的に振り返ることができる。	○	○	○	7
1 学期 定期考査			○	○		1
2 章 コミュニケーションと情報デザイン 【知識及び技能】 メディア、コミュニケーション、情報デザインについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自らを客観的に振り返る。	・メディアの特性、様々なコミュニケーション手段の方法、情報デザインの表現方法について学び、役立てようとする。 ・情報デザインを理解し、各自が所属する科をイメージするポスターを作成する (Adobeソフトの利用) 【教科書、端末 (ノート) の電子化】 ※自学自習用で外部教材利用	【知識・技能】 ワークシートや補助資料をとおり、めあての学習項目を理解している。端末におけるソフトウェアの使い方を理解している。 【思考・判断・表現】 事例や例題を自身で考えたり、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートを効果的にまとめる、発問を行うことや、自己評価 (Forms) を行い、自らを客観的に振り返ることができる。	○	○	○	7
3 章 情報とコンピュータ 【知識及び技能】 情報の表現方法、計算法、拡張子等について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自らを客観的に振り返る。	・情報について学ぶとともに、情報の表現、アナログ、デジタルについて理解するとともに情報のデジタル化についても理解しようとしていること。 【教科書、端末 (ノート) の電子化】 ※自学自習用で外部教材利用	【知識・技能】 ワークシートや補助資料をとおり、めあての学習項目を理解している。与えられた課題に対し自らの考えを記している。 【思考・判断・表現】 事例や例題を自身で考えたり、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートを効果的にまとめる、発問を行うことや、自己評価 (Forms) を行い、自らを客観的に振り返ることができる。	○	○		9
定期考査			○	○		1

2 学 期	4章 アルゴリズムとプログラミング 【知識及び技能】 アルゴリズムを理解し、プログラミングとの関係性を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自らを客観的に振り返る。	・アルゴリズムについて理解し、プログラミングの構造と紐づけて理解することができること。 【教科書、端末（ノートの電子化）】 ※自学自習用で外部教材利用	【知識・技能】 ワークシートや補助資料をとおし、めあての学習項目を理解している。端末におけるソフトウェアの使い方を理解している。 【思考・判断・表現】 事例や例題を自身で考えたり、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートを効果的にまとめる、発問を行うことや、自己評価を行い、自らを客観的に振り返ることができる。	○	○	○	5
	5章 ネットワークと情報システム 【知識及び技能】 アルゴリズムを理解し、プログラミングとの関係性を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自らを客観的に振り返る。	・ネットワークの仕組みの全般について理解している。情報システムのサービスや情報セキュリティについて理解していること。 【教科書、端末（ノートの電子化）】 ※自学自習用で外部教材利用	【知識・技能】 ワークシートや補助資料をとおし、めあての学習項目を理解している。与えられた課題に対し自らの考えを記している。 【思考・判断・表現】 事例や例題を自身で考えたり、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートを効果的にまとめる、発問を行うことや、自己評価（Forms）を行い、自らを客観的に振り返ることができる。	○	○		7
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<実習> オフィスソフトの活用 ・文書作成ソフトの活用 ・表計算ソフトの活用	・オフィスソフトの役割を理解し、情報デザイン、データのまとめ分析方法について理解するとともに、文書作成ソフト、表計算ソフトにの活用ができること。 【教科書、ワークシート、デスクトップパソコン、端末】 ※自学自習用で外部教材利用	【知識・技能】 使用するソフトウェアや機能について理解している。 【思考・判断・表現】 与えられた課題について、自ら考え取り組むことができる。他者と協力して物事を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 補助資料を効果的にまとめる、発問を行うことや、自己評価（Forms）を行い、自らを客観的に振り返ることができる。	○	○	○	11
	<実習> オフィスソフトの活用 ・プレゼンテーションソフトの活用 専科とのコラボ授業	・オフィスソフトの役割を理解し、プレゼンテーションについて理解するとともに、プレゼンテーションソフトを活用することができること。 与えられた課題について、時間を守り相手に分かりやすく伝えることができる。 【教科書、ワークシート、デスクトップパソコン、端末】 ※自学自習用で外部教材利用	【知識・技能】 使用するソフトウェアや機能について理解している。 【思考・判断・表現】 与えられた課題について、自ら考え取り組むことができる。他者と協力して物事を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 補助資料を効果的にまとめる、発問を行うことや、自己評価（Forms）を行い、自らを客観的に振り返ることができる。	○	○	○	8
	<実習> プログラミング ・Scrachを活用したゲーム作り	・アルゴリズムとフローチャート、プログラミングについて理解するとともに、プログラミングをとおして論理的に学ぶことができること。 【教科書、ワークシート、デスクトップパソコン、外部教材、端末】 ※自学自習用で外部教材利用	【知識・技能】 使用するソフトウェアや機能について理解している。 【思考・判断・表現】 与えられた課題について、自ら考え取り組むことができる。他者と協力して物事を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 補助資料を効果的にまとめる、発問を行うことや、自己評価（Forms）を行い、自らを客観的に振り返ることができる。	○	○	○	8
							合計
							70

	第6章 食生活をつくる【知識及び技能】栄養素の種類と働きやそれぞれの栄養素が多く含まれる食品についての基礎的な知識を身につける。【思考力・判断力・表現力】衛生と安全に配慮して、調理することができるようになる。【学びに向かう力、人間性等】日本の食糧事情を解決するためにできることをみつける。	1. 栄養素の働きと食品の栄養を理解させる。 2. 食品の安全性を理解させ、選択する力を養わせる。 3. 調理実習 4. 1人一台端末の活用	【知識及び技能】食事の意義や役割、栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ、それを実際の食生活に活かすことができる。 【思考力・判断力・表現力等】地域の食文化やそれが発展してきた背景について、情報収集を行い、まとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】食品と栄養、調理との関係において、科学的な視点をもって知識を深めようとしている。	○	○	○	23
	第9章 消費行動を考える【知識及び技能】契約や多様な販売方法や支払い方法、問題商法について理解する。【思考力・判断力・表現力】資源や環境に配慮した生活スタイルについて考え、実行できる。【学びに向かう力、人間性等】情報リテラシーを身につける大切さを理解する。	1. 情報化と消費生活の関係性を理解させ、消費者の権利を知らせる。 2. 契約と消費者信用について理解させる。 3. 1人一台端末の活用	【知識及び技能】消費行動における意思決定の家庭とその重要性について理解でき、また契約についての知識を身につけている。 【思考力・判断力・表現力等】多様化する販売方法や支払い方法について、問題点や解決策を考え、判断することができる。 【学びに向かう力、人間性等】自分が一消費者であることをじあつくし、消費行動や環境とのかかわりについて積極的に理解しようとする。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2 学期	第10章 経済的に自立する【知識及び技能】家庭の収入や支出、予算生活の必要性について理解する。【思考力・判断力・表現力】将来の生活設計とかかわらせて、長期の経済設計の必要性について理解する。【学びに向かう力、人間性等】家庭経済を国民経済、国際経済の関係性に気づく。	1. 収入と支出の管理について理解させ、貯蓄と家計管理を実践できる力を養わせる。 2. 1人一台端末の活用	【知識及び技能】家庭経済・国民経済などのしくみについて理解でき、短期・長期の経済計画に関わる実習を通して、経済的な側面から人生設計を組み立てることができる。 【思考力・判断力・表現力等】現在の経済社会と家計との官営を考えながら、家庭の収入・支出・預金などについて、適切な考えを持ち、判断ができる。 【学びに向かう力、人間性等】自分の経済的自立を考えながら、長期・短期の経済計画について意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	15
	第4章 高齢者とかかわる【知識及び技能】高齢者の心身の特徴や生活を客観的に理解する。【思考力・判断力・表現力】高齢期の心身の変化による生活行動の不安に気づき、改善する。【学びに向かう力、人間性等】高齢者、高齢社会への理解を世界の動向からも深める。	1. 高齢者の理解と高齢社会・高齢福祉を知らせる。 2. 1人一台端末の活用	【知識及び技能】高齢社会の現状や高齢者の心身の特徴について理解し、日常生活の基本的な介助の方法を介助実習を通して身につけることができる。 【思考力・判断力・表現力等】高齢社会の現状や高齢者の生活を知ることにより、高齢者の自立した生活とは何か、自分の考えをまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】介助実習においては、積極的に参加し、高齢者の現状を把握しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		2
3 学期	第5章 社会とかかわる【知識及び技能】個人や家庭生活を支える社会保障制度や社会福祉についての重要性を理解する。【思考力・判断力・表現力】ボランティア活動に興味関心が持てるようになり、実際の活動につなげる。【学びに向かう力、人間性等】将来に向けた課題に気づく	1. 社会保障の必要性や意義、日本の制度を理解させる。 2. 1人一台端末の活用	【知識及び技能】社会福祉の意味、現在の社会福祉の状況、社会保障制度のしくみについて理解できる。 【思考力・判断力・表現力等】社会福祉や生涯を通しての社会保障制度の仕組みについて、現在の生活課題と関連させながら考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】生涯を通して支え合いのしくみについて意欲的に理解しようとしている。	○	○	○	10
	第8章 住生活をつくる【知識及び技能】日本の住まいの選りや生活様式などを理解する。【思考力・判断力・表現力】住まいの生活空間の機能を理解し、空間の特徴や家族のイメージをすることができるようにする。【学びに向かう力、人間性等】町の課題について自分なりに解決策を考えることができる。	1. 住まい、住環境の意味を理解させ、ライフスタイルに対応した間取りを考えさせる。 2. 住まいの安全や安心について知らせる。 3. 平面図実習 4. 1人一台端末の活用	【知識及び技能】日本の住まいや歴史、住まい方、家族構成やライフステージなどのかかわりから、平面図を読み取ることができる。 【思考力・判断力・表現力等】住まいの管理方法について、適切な掃除や頻度を考え、判断することができる。 【学びに向かう力、人間性等】住まいの文化や機能、住空間の計画や住環境について関心を持ち、快適な住まいづくりに向けて意欲的にとりくもうとする。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
						合計	140

3 学期	現代を知る ・生活・社会 ・環境 ・国際問題・異文化理解 ・日本語・日本人 ・教育 ・福祉 ・政治・経済 ・情報・メディア ・科学技術 ・医療・看護	・生活産業に関する時事問題に取り組ませる。 副教材「現代を知る」「ノート」 1人1台端末の活用 ICTの活用	【知識・技能】 時事問題について基礎的な理解が出来る。 【思考・判断・表現】 生活産業に関する課題についてまとめ、課題解決のための手段について考察ができています。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に講義内容をまとめ、社会問題を考察する姿勢がある。 生活産業や関連する職業への関心を高め、適切な進路選択と専門性の向上を目指して自ら学び、ライフスタイルの変化に対応した商品・サービスの提供について自ら学び、生活産業の振興や社会貢献に主体的かつ協同的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	外部講師による講演 職業社会の課題について情報を整理し、現状と今後について、具体的に考察することが出来る授業の展開	・食生活・栄養のスペシャリスト・幼児教育のスペシャリストによる講義 ・1人1台端末の活用 ・ICTの活用	【主体的に学習に取り組む態度】 1年間の学びを網羅し、ライフスタイルや価値観の多様化に対応して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協同的に取り組もうとしている。			○	8
							合計

2 学期	<p>生活に対応した商品・サービスの提供</p> <p>【知識及び技能】 消費者ニーズに関する情報の収集と分析の必要性、及び市場調査の方法について関連する情報を集約・整理することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 商品・サービスの企画・開発及び販売と提供について一連の流れについてシミュレーションしまとめることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 信頼される商品・サービスの提供について自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者ニーズに対応した商品 ・市場調査 ・企画と開発 ・一人1台端末を活用した市場調査と情報収集 	<p>生活に対応した商品・サービスの提供</p> <p>【知識及び技能】 消費者ニーズに関する情報の収集と分析の必要性及び市場調査の方法について関連する情報を集約・整理している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 商品・サービスの企画・開発及び販売と提供について一連の流れについてシミュレーションしまとめている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 信頼される商品・サービスの提供について自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	18
	<p>外食産業の変遷と現代の課題</p> <p>【知識及び技能】 食生活の変化と外食産業に関連する情報を集約・整理することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 外食産業の歴史と現代の課題についてまとめることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 外食産業の変遷と現代の課題について自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活の変化と外食産業の変遷 ・現代の食生活産業の課題 ・一人1台端末を活用した外食店舗と経営シミュレーション 	<p>外食産業の変遷と現代の課題</p> <p>【知識及び技能】 食生活の変化と外食産業に関連する情報を集約・整理している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 外食産業の歴史と現代の課題についてまとめている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 外食産業の変遷と現代の課題について自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
3 学期	<p>職業生活と自己実現</p> <p>【知識及び技能】 調理師として社会に出て働く意義について理解し、関連する情報を集約・整理することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 調理師免許取得後の進路設計について、目標を設定し、その目標に向けて自己実現するための方策を考え、まとめることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 将来の生活と現在の学業を結び付けて自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調理師免許取得後の具体的な進路設計 ・調理師を生かした職業選択と社会貢献、調理師に求められる責務 	<p>職業生活と自己実現</p> <p>【知識及び技能】 調理師として働く意義について理解し、関連する情報を集約・整理している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 調理師免許取得後の進路設計について、目標を設定し、その目標に向けて自己実現するための方策を考え、まとめている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 将来の生活と現在の学業を結び付けて自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
合計							70

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 家庭 科目 食文化

教科： 家庭

科目： 食文化

単位数： 1 単位

対象学年組： 第 1 学年 5 組～ 組

使用教科書： （ 全国調理師養成施設協会 4 調理理論と食文化概論 ）

教科 家庭

の目標： 家庭の生活の関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、生活の質の向上と社会の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】生活産業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生活産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、より良い社会の構築を目指して自ら学び、生活の質の向上

と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 食文化

の目標： 家庭の生活の関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、食文化の伝承と創造を担う職業人として必要な資質・能力を育成する

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
食文化の成り立ちや日本と世界の食文化などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する情報を収集・整理することができる。	食生活の現状から食文化に関する課題を発見し、食文化の伝承と創造を担う職業人として合理的かつ創造的にその解決に向けて考察し、工夫する。	食文化の面から食生活の充実向上を目指して自ら学び、食文化の伝承と創造に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 食文化の成り立ち 【知識及び技能】 自身の食事嗜好と、影響を与える要因について検証し、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 食の嗜好は、味などの食材のもつ特性のみならず、地域性、気温、宗教など様々な要因で決まるものと理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 宗教と食物禁忌（例えばハラールフード）について、主体的かつ協働的に調べたり、発表する。	・教科書 ・プリント ・食品成分表 ・一人1 台端末の活用	【知識・技能】 「食文化とは何か」について理解している。 【思考・判断・表現】 食文化の成り立ちについて理解できている。 【学びに向かう力、人間性等】 自分自身や他者の食事嗜好、宗教と食物禁忌について考えたり、調べることで、多様な食文化への理解に、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	単元 日本の食文化 【知識及び技能】 日本の食文化について学び、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 調理実習で技術の習得をする献立に準じながら、和食の文化について理論的理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 郷土料理について自身で調べ学習を行い、まとめることで理解を深める。	・教科書 ・プリント ・食品成分表 ・一人1 台端末の活用	【知識・技能】 日本料理の特徴を知り、食事の作法を理解している。 【思考・判断・表現】 日本料理の献立形式を理解し、どのような料理が当てはまるか分類できる。 【学びに向かう力、人間性等】 郷土料理についてまとめたり、作ったりすることで、日本の食文化の理解に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	7
定期考査			○	○		1	
	単元 日本料理の食文化 【知識及び技能】 日本料理の歴史と食文化の形成について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 縄文時代から現代まで、人はどのような食生活をし生きてきたか理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 日本料理の食の様式を知り、会席料理や懐石料理など調理実習を通じマナーについて実践力を高める。	・教科書 ・プリント ・食品成分表 ・一人1 台端末の活用	【知識・技能】 日本の食環境の変化を知り、食育の必要性について理解する。 【思考・判断・表現】 日本料理の献立形式を理解し、どのような料理が当てはまるか分類できる。 【学びに向かう力、人間性等】 食事のマナーを理解し、調理実習や実生活の中で、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	5

	定期考査			○	○		1
2 学 期	<p>単元 西洋料理の食文化</p> <p>【知識及び技能】 西洋料理の食文化の変化について学び、理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 フランス料理、イタリア料理の献立構成について知り、理解する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 西洋料理のテーブルマナー、テーブルセッティングを学ぶ。実際の調理器具を用いて実践的に学習する。ナフキンの折り方について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・プリント ・食品成分表 ・一人1台端末の活用 	<p>【知識・技能】 西洋料理に分類される国と料理名を把握し、どのように発達してきたかを知る。西洋料理のマナーとテーブルセッティングができ、数種類のナフキンが折れる。</p> <p>【思考・判断・表現】 フランス料理、イタリア料理の献立構成について知り、理解し、テーブルマナーの場で実践しようとしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 テーブルマナーやセッティングの意味を理解し、実習の場で主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>単元 中国料理の食文化</p> <p>【知識及び技能】 中国料理の食文化について学ぶ。中国の地方による食文化の違い、料理の種類の違いを知る。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 中国料理のテーブルマナー、テーブルコーディネートについて知る。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 中国料理の食器等に触れ、多様な食文化への理解を深めるために、調べ学習などにおいて主体的かつ協働的に取り組む態度を身に着ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・プリント ・食品成分表 ・一人1台端末の活用 	<p>【知識・技能】 中国料理の食文化を知り、特徴と系統を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 中国・アジアの料理の種類とマナーの背景を考察し、工夫して表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 世界の料理についての調べ学習と発表において、多様な食文化を理解するために、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
							合計
							35

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 家庭 科目 栄養

教科： 家庭

科目： 栄養

単位数： 1 単位

対象学年組： 第 1 学年 5 組～ 組

使用教科書： （ 全国調理師養成施設協会 2 食品と栄養の特性 ）

教科 家庭

の目標： 家庭の生活の関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、生活の質の向上と社会の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】生活産業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生活産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、より良い社会の構築を目指して自ら学び、生活の質の向上と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 栄養

の目標： 家庭の生活の関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、栄養面で健康の保持増進を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
栄養素の機能と代謝、各ライフステージにおける栄養・労働・スポーツと栄養などについて体系的・系統的に理解するとともに関連する技術・情報を収集・整理することができる。	食生活の現状から栄養に関する課題を発見し、栄養面で健康の保持増進を担う職業人として合理的かつ創造的に解決に向けて考察し、工夫する。	栄養状態の改善の面から食生活の充実向上を目指して自ら学び、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 人体と栄養 【知識及び技能】 エネルギー代謝、食物の摂取について理解し、関連する情報を集約・整理することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 食品成分表を活用した栄養価計算等を通し、栄養面で健康の保持増進を担うため考察し、工夫して表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 食物摂取と栄養への関心を高め、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。	・エネルギー、三大栄養素、食塩の栄養価計算 ・食品成分表	A 人体と栄養 【知識及び技能】 エネルギー代謝、食物の摂取について理解し、関連する情報を集約・整理している。 【思考力、判断力、表現力等】 食品成分表を活用した栄養価計算等を通し、栄養面で健康の保持増進を担うため考察し、表現を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 食物摂取と栄養への関心を高め、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	B 栄養素の機能と代謝 【知識及び技能】 炭水化物について理解し、関連する情報を集約・整理することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 炭水化物の種類と生理機能、糖質と食物繊維の違いについて考察し、工夫して表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 炭水化物への関心を高め、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。	・炭水化物の種類と各構造 ・一人1台端末を活用した動画の視聴による理解度の向上や協働学習	B 栄養素の機能と代謝 【知識及び技能】 炭水化物について理解し、関連する情報を集約・整理している。 【思考力、判断力、表現力等】 炭水化物の種類と生理機能、糖質と食物繊維の違いについて考察し、工夫して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 炭水化物への関心を高め、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	
	定期考査			○	○		1
	A 人体と栄養 【知識及び技能】 エネルギー代謝、食物の摂取について理解し、関連する情報を集約・整理することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 食品成分表を活用した栄養価計算等を通し、栄養面で健康の保持増進を担うため考察し、工夫して表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 食物摂取と栄養への関心を高め、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。	・エネルギー、三大栄養素、食塩の栄養価計算 ・食品成分表	A 人体と栄養 【知識及び技能】 エネルギー代謝食物の摂取について理解し、関連する情報を集約・整理している。 【思考力、判断力、表現力等】 食品成分表を活用した栄養価計算等を通し、栄養面で健康の保持増進を担うため考察し、表現を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 食物摂取と栄養への関心を高め、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	5

	<p>B 栄養素の機能と代謝</p> <p>【知識及び技能】 炭水化物について理解し、関連する情報を集約・整理することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 炭水化物の種類と生理機能、糖質と食物繊維の違いについて考察し、工夫して表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 炭水化物への関心を高め、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多糖類と食物繊維について ・一人1台端末を活用した動画等の視聴による理解度の向上や資料作成 	<p>B 栄養素の機能と代謝</p> <p>【知識及び技能】 炭水化物について理解し、関連する情報を集約・整理している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 炭水化物の種類と生理機能、糖質と食物繊維の違いについて考察し、工夫して表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 炭水化物への関心を高め、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
2 学 期	<p>A 人体と栄養</p> <p>【知識及び技能】 エネルギー代謝、食物の摂取について理解し、関連する情報を集約・整理することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 食品成分表を活用した栄養価計算等を通し、栄養面で健康の保持増進を担うため考察し、工夫して表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 食物摂取と栄養への関心を高め、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アミノ酸スコアの計算 ・基礎代謝に関する計算 ・食品成分表 	<p>A 人体と栄養</p> <p>【知識及び技能】 エネルギー代謝食物の摂取について理解し、関連する情報を集約・整理している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 食品成分表を活用した栄養価計算等を通し、栄養面で健康の保持増進を担うため考察し、表現を工夫している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 食物摂取と栄養への関心を高め、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	<p>B 栄養素の機能と代謝</p> <p>【知識及び技能】 脂質、たんぱく質について理解し、関連する情報を集約・整理することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 脂質、たんぱく質の種類と生理機能について考察し、工夫して表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 脂質、たんぱく質への関心を高め、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・たんぱく質・脂質について ・脂質の種類 ・たんぱく質の種類や栄養価 ・一人1台端末を活用した動画等の視聴による理解度の向上や理解の深化 	<p>B 栄養素の機能と代謝</p> <p>【知識及び技能】 脂質、たんぱく質について理解し、関連する情報を集約・整理している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 脂質、たんぱく質の種類と生理機能について考察し、工夫して表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 脂質、たんぱく質への関心を高め、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>A 人体と栄養</p> <p>【知識及び技能】 エネルギー代謝、食物の摂取について理解し、関連する情報を集約・整理することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 食品成分表を活用した栄養価計算等を通し、栄養面で健康の保持増進を担うため考察し、工夫して表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 食物摂取と栄養への関心を高め、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・五大栄養素の栄養価計算 ・食品成分表 	<p>A 人体と栄養</p> <p>【知識及び技能】 エネルギー代謝食物の摂取について理解し、関連する情報を集約・整理している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 食品成分表を活用した栄養価計算等を通し、栄養面で健康の保持増進を担うため考察し、表現を工夫している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 食物摂取と栄養への関心を高め、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	<p>B 栄養素の機能と代謝</p> <p>【知識及び技能】 ビタミン、ミネラルについて理解し、関連する情報を集約・整理することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ビタミン、ミネラルの種類と生理機能について考察し、工夫して表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ビタミン、ミネラルへの関心を高め、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ビタミン、ミネラルについて ・ビタミンの種類や働き ・ミネラルの種類と働き ・その他の成分 ・一人1台端末を活用した動画等の視聴による理解度の向上やまとめ作業 	<p>B 栄養素の機能と代謝</p> <p>【知識及び技能】 ビタミン、ミネラルについて理解し、関連する情報を集約・整理している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ビタミン、ミネラルの種類と生理機能について考察し、工夫して表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ビタミン、ミネラルへの関心を高め、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
							合計
							35

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 家庭 科目 調理理論

教科： 家庭 科目： 調理理論 単位数： 1 単位

対象学年組： 第 1 学年 5 組

使用教科書：（ 全国調理師養成施設協会 5 調理実習 レシピ集 食品成分表 ）

教科 家庭 の目標： 家庭の生活の関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、生活の質の向上と社会の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】生活産業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生活産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、より良い社会の構築を目指して自ら学び、生活の質の向上と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 調理理論 の目標： 家庭の生活の関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、創造的に調理し、健康の保持増進に寄与する食生活の充実向上を担う職業人として必要な資質能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
調理の基礎、献立作成及び様式別調理などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	食生活の現状から調理に関する課題を発見し、調理を通して食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決に向けて考察し、工夫する。	調理の面から食生活の充実向上を目指して自ら学び、創造的な調理に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	調理の基本操作 非加熱調理操作（計量、洗浄、浸漬、切碎、混合・かくはん） 【知識及び技能】 計量カップ・計量スプーンの使い方、料理により使用する包丁の違いを知る。 【思考力、判断力、表現力等】 調味料により計量の量や計り方の違いや、料理・食材によって包丁の切り方・使い方が違うことを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 計量が的確にでき、包丁を安全に使用し食材を無駄にしない。	・教科書 ・プリント	【知識・技能】 計量カップ・計量スプーン、包丁の使い方を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 調味料により計量の量や計り方が違うことや、料理・食材により包丁の切り方や使い方が違うことを理解し、適切に使うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 包丁を適切に取り扱い、自分の包丁ケースで管理することができる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
2 学 期	料理に用いるだし 【知識及び技能】 料理の種類ごとに混合だし、ブイヨン、湯の種類を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれのだしに用いる食材を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 料理の種類ごとにだしの味を理解する。	・教科書 ・プリント	【知識及び技能】 料理の種類ごとに混合だし、ブイヨン、湯の種類を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれのだしに用いる食材を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 料理の種類ごとにだしの味を理解して、だしを取ることが出来る。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3 学 期	料理に用いる食材の下ごしらえ 【知識・技能】 料理に用いる食材の下ごしらえ方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 野菜、肉、魚により食材の下ごしらえ方が違うことを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 食材の下ごしらえ方により、見た目は味に影響があることを知る。	・教科書 ・プリント	【知識・技能】 料理に用いる食材の下ごしらえ方法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 野菜、肉、魚により食材の下ごしらえ方が違うことを理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 食材の下ごしらえ方により、見た目は味に影響があることを理解している。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
				○	○		合計 35

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 福祉 科目 社会福祉基礎

教科：福祉 科目：社会福祉基礎 単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 6組

使用教科書：（実教出版「社会福祉基礎」 中央法規「人間の理解」「社会の理解」）

教科 福祉 の目標：

【知識及び技能】福祉の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性をはぐくみ、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造

科目 社会福祉基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会福祉の実践において必要な知識について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	社会福祉の展開に関する諸課題を発見し、援助者としての倫理観をふまえて、合理的かつ創造的に解決をする力を身に付けている。	健全で持続的な社会を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1編 第1章生活と福祉 【知識及び技能】 家族の多様化と働き方の変化について理解するとともに、疾病構造の変化が医療に及ぼす影響と健康増進の取り組みについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 家族の多様化と働き方の変化について理解するとともに、疾病構造の変化が医療に及ぼす影響と健康増進の取り組みについて理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 時代の変化に伴うライフコースの多様化について理解し、個人の人生における社会福祉施策との関わりを主体的に考察する。	指導事項 ・少子高齢化と人口減少に向かう日本 ・産業と地域社会の変化 ・家族と働き方の変化 ・疾病構造の変化 ・人の一生と社会福祉 教材 ・教科書、ワークシート、辞書、 一人1台端末	【知識・技能】 生活と福祉について体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識や技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生活と福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、生活と福祉の創造と発展に主体的かつ協動的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	第1編 第2章社会福祉の理念 【知識及び技能】 生活を支えるしくみを理解し、今後の地域社会と社会福祉との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 基本的人権の尊重を理念として様々な人権に関する各種条約が採択されていることを理解し、今後の共生社会のあり方を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 基本的人権の尊重を理念として様々な人権に関する各種条約が採択されていることを理解し、今後の地域社会と社会福祉との関わりについて主体的に考察する。	指導事項 ・現代の福祉理念 ・日本国憲法と社会福祉 ・地域生活と社会福祉 教材 ・教科書、ワークシート、辞書、 一人1台端末	【知識・技能】 社会福祉の理念について体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識や技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 社会福祉の理念に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、社会福祉の理念の創造と発展に主体的かつ協動的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
定期考査			○	○		1	
	第1編 第3章人間の尊厳と新たな社会福祉の創造 【知識及び技能】 現代の社会福祉が自立生活支援を目指していることを理解し、社会の変化やニーズに応じて今後の自立生活支援のあり方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 人間に内在する「人間の尊厳」という価値を理解し、福祉サービス利用者に対する自立支援のあり方を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 社会的包摂の実現に向けて求められる福祉社会像を理解し、行政や専	指導事項 ・人間としての尊厳 ・自立支援生活 ・新たな社会福祉の構築に向けて 教材 ・教科書、ワークシート、辞書、 一人1台端末	【知識・技能】 人間の尊厳と新たな社会福祉の創造について体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識や技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 人間の尊厳と新たな社会福祉の創造に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、人間の尊厳と新たな社会福祉の創造の創造と発展に主体的かつ協動的に取り組もうとしている。	○	○	○	6

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科

福祉

科目 介護福祉基礎

教科：福祉

科目：介護福祉基礎

単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 6組～ 組

使用教科書：（介護福祉基礎 実教出版）

教科 福祉 の目標：

- 【知識及び技能】 介護に必要な知識や意義、役割について体系的・系統的に理解していると共に、関連する介護技術を身に付けている
- 【思考力、判断力、表現力等】 介護に関する諸問題を発見し、介護従事者としての倫理観を踏まえて、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている
- 【学びに向かう力、人間性等】 より良い介護を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付けている。

科目 介護福祉基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
介護に必要な知識や意義、役割について体系的・系統的に理解していると共に、関連する介護技術を身に付けている	介護に関する諸問題を発見し、介護従事者としての倫理観を踏まえて、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている	より良い介護を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 介護を必要とする人と生活環境 【知識・技能】 生活環境の整備について理解し、正しい知識を身につける 【主体的に学習に取り組む態度】 生活環境の整備について主体的に考察できる。	・介護を必要とする人の生活環境 ・介護を必要とする人の背景と生活環境	【知識・技能】 生活環境の整備について理解し、正しい知識を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活環境の整備について主体的に考察している。	○		○	3
	B 高齢者の生活と支援 【知識・技能】 高齢者の社会参加や環境について理解し、正しい知識を身につける。 【思考・判断・表現】 高齢者の社会参加に関する諸課題を発見し、解決する力を身につける。 【主体的に学習に取り組む態度】 高齢者の生活支援について主体的に考察できる。	・高齢者の活動 ・高齢者を取り巻く環境の考え方 ・高齢者の生活支援	【知識・技能】 高齢者の社会参加や環境について理解し、正しい知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 高齢者の社会参加に関する諸課題を発見し、解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 高齢者の生活支援について主体的に考察している。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	C 尊厳を支える介護 【知識・技能】 高齢者や障害者の人権について理解し、正しい知識を身につける。 【思考・判断・表現】 尊厳のある介護および自己決定の支援に関する諸課題を発見し、解決する力を身につける。 【主体的に学習に取り組む態度】 高齢者の人権や障害者の人権について主体的に考察できる。	・介護の意義、役割、尊厳を支える介護 ・利用主体の介護サービス ・介護を必要とする高齢者の人権と尊厳 ・介護を必要とする障害者の人権と尊厳	【知識・技能】 高齢者や障害者の人権について理解し、正しい知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 尊厳のある介護および自己決定の支援に関する諸課題を発見し、解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 高齢者の人権や障害者の人権について主体的に考察している。	○	○	○	4
定期考査			○	○		1	
2 学 期	D 福祉用具と介護ロボット 【知識・技能】 福祉用具について理解し、正しい知識を身につける。 【思考・判断・表現】 福祉用具を活用することで生じる諸課題を発見し、解決する力を身につける。 【主体的に学習に取り組む態度】 今後の福祉用具の活動について主体的に考察できる。	・福祉用具と介護ロボットの必要性 ・福祉用具と介護ロボットの有効的な活用	【知識・技能】 福祉用具について理解し、正しい知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 福祉用具を活用することで生じる諸課題を発見し、解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 今後の福祉用具の活動について主体的に考察している。	○	○	○	3
	E 自立に向けた支援 【知識・技能】 自立支援について理解し、正しい知識を身につける。 【思考・判断・表現】 自立支援に関する諸課題を発見し、解決する力を身につける。 【主体的に学習に取り組む態度】 自立支援について主体的に考察できる。	・自立を支援する専門職 ・個性を尊重した自立のための支援	【知識・技能】 自立支援について理解し、正しい知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 自立支援に関する諸課題を発見し、解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自立支援について主体的に考察している。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1

	<p>F 介護従事者の倫理</p> <p>【知識・技能】 専門職の倫理やプライバシーの保護について理解し、正しい知識を身につける。</p> <p>【思考・判断・表現】 専門職の倫理やプライバシーの保護に関する諸課題を発見し、解決する力を身につける。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 専門職の倫理やプライバシーの保護について主体的に考察できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職の倫理 ・専門職としての基本姿勢 ・プライバシーの保護 	<p>【知識・技能】 専門職の倫理やプライバシーの保護について理解し、正しい知識を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】 専門職の倫理やプライバシーの保護に関する諸課題を発見し、解決しようとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 専門職の倫理やプライバシーの保護について主体的に考察している。</p>	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>G 障害者の生活と支援</p> <p>【知識・技能】 さまざまな障害者の生活と支援について理解し、正しい知識を身につける。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまな障害者の生活と支援について主体的に考察できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・障害とは何か ・肢体不自由者の生活と支援 ・視覚障害者、聴覚・言語障害者の生活と支援 ・内部障害者の生活と支援 ・知的障害者の生活と支援 ・発達障害者の生活と支援 ・精神障害者の生活と支援 	<p>【知識・技能】 さまざまな障害者の生活と支援について理解し、正しい知識を身につけている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまな障害者の生活と支援について主体的に考察している。</p>	○		○	8
	定期考査			○	○		1
							合計

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 福祉 科目 生活支援技術

教科：福祉 科目：生活支援技術 単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 6組～ 組

使用教科書：（実教出版「生活支援技術」 中央法規「生活支援技術Ⅰ」「生活支援技術Ⅱ」）

教科 福祉 の目標：

- 【知識及び技能】介護に必要な知識や意義、役割について体系的・系統的に理解していると共に、関連する介護技術を身に付けている
- 【思考力、判断力、表現力等】介護に関する諸問題を発見し、介護従事者としての倫理観を踏まえて、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている
- 【学びに向かう力、人間性等】より良い介護を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 生活支援技術 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
介護に必要な知識や意義、役割について体系的・系統的に理解していると共に、関連する介護技術を身に付けている	介護に関する諸問題を発見し、介護従事者としての倫理観を踏まえて、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている	より良い介護を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1編生活支援の理解 第1章生活の理解 第2章 生活支援の考え方 【知識及び技能】 生活・生活支援について体系的・系統的に理解していると共に、関連する介護技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 生活・生活支援に関する諸問題を発見し、介護従事者としての倫理観を踏まえて、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 より良い介護を目指して自ら学び、生活・生活支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	指導事項 ・生活とは ・生活形成 ・生活支援 ・尊厳の保持と自立支援 ・介護予防とリハビリテーション 教材 ・教科書、ワークシート、辞書、一人1台端末	【知識・技能】 生活・生活支援について体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識や技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生活・生活支援に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、生活・生活支援の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
	第2編自立に向けた生活支援 第1章居住環境の整備 【知識及び技能】 居住環境の整備について体系的・系統的に理解していると共に、関連する介護技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 居住環境の整備に関する諸問題を発見し、介護従事者としての倫理観を踏まえて、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 より良い介護を目指して自ら学び、居住環境の整備に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	指導事項 ・居住環境整備の基本理念 ・快適な居住環境 ・高齢者および障害者の住まい 教材 ・教科書、ワークシート、辞書、一人1台端末、ベッド	【知識・技能】 居住環境の整備について体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識や技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 居住環境の整備に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、居住環境の整備の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	17
定期考査			○	○		1	

2 学 期	<p>第3章身じたくの支援</p> <p>【知識及び技能】 身じたくの支援について体系的・系統的に理解していると共に、関連する介護技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 身じたくの支援に関する諸問題を発見し、介護従事者としての倫理観を踏まえて、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 より良い介護を目指して自ら学び、身じたくの支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身じたくの意義と役割 ・身じたくの支援の技法 <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書、ワークシート、辞書、一人1台端末、ベッド、衣類 	<p>【知識・技能】 身じたくの支援について体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識や技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 身じたくの支援に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、身じたくの支援の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	<p>第4章移動の支援</p> <p>【知識及び技能】 移動の支援について体系的・系統的に理解していると共に、関連する介護技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 移動の支援に関する諸問題を発見し、介護従事者としての倫理観を踏まえて、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 より良い介護を目指して自ら学び、移動の支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動の意義と目的 ・移動の支援の技法 <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書、ワークシート、辞書、一人1台端末、ベッド、車いす、杖 	<p>【知識・技能】 移動の支援について体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識や技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 移動の支援に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、移動の支援の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	20
定期考査			○	○		1	
3 学 期	<p>第8章睡眠・休養の支援</p> <p>【知識及び技能】 睡眠・休養の支援について体系的・系統的に理解していると共に、関連する介護技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 睡眠・休養の支援に関する諸問題を発見し、介護従事者としての倫理観を踏まえて、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 より良い介護を目指して自ら学び、睡眠・休養の支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・睡眠、休養の意義と目的 ・睡眠、休養の支援と技法 <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書、ワークシート、辞書、一人1台端末、ベッド 	<p>【知識・技能】 睡眠・休養の支援について体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識や技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 睡眠・休養の支援に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、睡眠・休養の支援の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	26
	定期考査			○	○		1
							合計

高等学校 令和8年度(1学年用) 教科 福祉 科目 ころとからだの理解

教科: 福祉 科目: ころとからだの理解 単位数: 2 単位

対象学年組: 第1学年 6組

使用教科書: (実教出版「ころとからだの理解」中央法規「ころとからだのしくみ」)

教科 福祉 の目標:

【知識及び技能】実践的・体験的な学習活動を行うことを通じて、介護を実践するために必要な技能を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】専門的な知識の能力を活用し適切に判断し、専門用語を用いて表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】福祉の見方や考え方を働かせ、他者と共同して問題解決など学びに向かう積極性を習得する。

科目 ころとからだの理解 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実践的・体験的な学習活動を通じて、介護技術を活用し、個々に応じた介護を安全に実践できる。	専門的な知識を習得し、その能力を生かして状況に応じた言語的表現、及び学習活動を積極的に行うことができる。	他者との協働活動や演習を通じて他者理解を深め、個々の良さを認め合い、協働して学習活動を積極的に行うことができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
①私たちの生活と健康 ②からだのしくみの理解 ③身じたくに関するころとからだのしくみ 【知識及び技能】 健康の概念や人間の欲求、尊厳等について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 介護従事者として必要な基本的なころのしくみを理解し、適切に表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協働して積極的に学習に取り組める。	・人がどのようにして生命を維持し、心身の機能のバランスを保っているのかを学び、生きることと健康生活について学ぶ。 ・介護従事者として、健康をどのようにとらえるべきかを考え、自分の言葉で表現できるよう指導する。 ・教材 教科書、ワークシート、辞書	【知識・技能】 教科書・視聴覚教材・学習プリント等を活用し積極的に学び知識を理解し、統合的に知識を活用する取り組み姿勢がある 【思考・判断・表現】 授業内で使用する学習プリント・ノートにおいて専門的な用語を用いて適切な表現を工夫できている 【主体的に学習に取り組む態度】 学習活動への参加状況と取り組み態度 他者と共同的に取り組んでいる	○	○	○	12
定期考査			○	○		1
①ころの理解 ①移動に関するころとからだのしくみ 【知識及び技能】 健康の概念や人間の欲求、尊厳等について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 介護従事者として必要な基本的なころのしくみを理解し、適切に表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協働して積極的に学習に取り組める。	・人間の心とは何か、人間の欲求や尊厳と関連させながら考え理解させる。 ・人間の心の働きやころのしくみを事例や協働学習から学んで気がつき個々の個性を知り、他者理解を深め、介護従事者としての知識を得られるよう関連付ける。 ・教材 教科書、ワークシート、辞書	【知識・技能】 教科書・視聴覚教材・学習プリント等を活用し積極的に学び知識を理解し、統合的に知識を活用する取り組み姿勢がある 【思考・判断・表現】 授業内で使用する学習プリント・ノートにおいて専門的な用語を用いて適切な表現を工夫できている 【主体的に学習に取り組む態度】 学習活動への参加状況と取り組み態度 他者と共同的に取り組んでいる	○	○	○	15
定期考査			○	○		1
①ころの理解 ①移動に関するころとからだのしくみ 【知識及び技能】 健康の概念や人間の欲求、尊厳等について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 介護従事者として必要な基本的なころのしくみを理解し、適切に表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協働して積極的に学習に取り組める。	・人間の心とは何か、人間の欲求や尊厳と関連させながら考え理解させる。 ・人間の心の働きやころのしくみを事例や協働学習から学んで気がつき個々の個性を知り、他者理解を深め、介護従事者としての知識を得られるよう関連付ける。 ・教材 教科書、ワークシート、辞書	【知識・技能】 教科書・視聴覚教材・学習プリント等を活用し積極的に学び知識を理解し、統合的に知識を活用する取り組み姿勢がある 【思考・判断・表現】 授業内で使用する学習プリント・ノートにおいて専門的な用語を用いて適切な表現を工夫できている 【主体的に学習に取り組む態度】 学習活動への参加状況と取り組み態度 他者と共同的に取り組んでいる	○	○	○	12
定期考査			○	○		1

高等学校 令和8年度(1学年用) 教科

福祉 科目 コミュニケーション技術

教科: 福祉 科目: コミュニケーション技術 単位数: 1 単位

対象学年組: 第 2 学年 6 組~ 組

使用教科書: (実教出版 コミュニケーション技術)

教科 福祉 の目標:

【知識及び技能】福祉の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に着けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性をはぐくみ、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と多

科目 コミュニケーション技術 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
介護福祉場面で活用できるコミュニケーションにおける基礎的な知識と技術を習得する。	サービス利用者やその家族を取り巻く状況を理解し、それに応じたコミュニケーションを実践する力を養う。	サービス利用者やその家族との信頼関係構築および専門職としてのよりよい関係・チームを構築を目指し、コミュニケーションが図ることができる姿勢と態度を身に付ける。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
介護場面におけるコミュニケーションの基本的技術の理解 【知識及び技能】 介護場面におけるコミュニケーションの基本的技法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 介護場面におけるコミュニケーションの基本的技術を理解し、利用者の状態に合わせた技術を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 介護場面におけるコミュニケーションの基本的技術を理解し、利用者とのよりよい関係構築につなげる方法を考察できる	指導事項 ・言語的コミュニケーション ・非言語的コミュニケーション ・バリエーション ・身体言語 ・空間(位置・距離) 教材 ・ワークシート等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 介護場面において必要な人間関係形成を図るためのコミュニケーションに関する知識や技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 介護場面において必要な人間関係形成を図るためのコミュニケーションのあり方を、根拠を持って考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 介護場面において必要な人間関係形成を図るためのコミュニケーションについて、主体的かつ協働的に考え実践しようとする。				6
定期考査			○	○		1
1 学 期 ・介護場面におけるコミュニケーションの基本的技術の理解 ・サービス利用者に応じたコミュニケーション 高齢者(認知症) 【知識及び技能】 介護場面におけるコミュニケーションの基本的技術を理解し、加齢や認知症がコミュニケーションに及ぼす影響を理解し、コミュニケーションに必要な知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 介護場面におけるコミュニケーションの基本的技術を理解し、加齢や認知症がコミュニケーションに及ぼす影響を理解し、利用者に合わせてコミュニケーションの方法を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 介護場面におけるコミュニケーションの基本的技術を理解し、加齢や認知症がコミュニケーションに及ぼす影響を理解し、利用者にとってのコミュニケーションの意味を考察する。	指導事項 ・傾聴 ・高齢者とコミュニケーション ・加齢による心身の変化 ・認知症とコミュニケーション 教材 ・ワークシート等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 加齢や認知症がコミュニケーションに及ぼす影響を理解し、関連する知識や技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 加齢や認知症がコミュニケーションに及ぼす影響と生活における課題を発見し、創造的に解決に向けて考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 加齢や認知症がコミュニケーションに及ぼす影響や生活における課題を理解し、利用者の生きがいや生活向上に繋がるコミュニケーションを考え、実践しようとする。				6
定期考査			○	○		1

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 福祉 科目 介護実習

教科：福祉 科目：介護実習 単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 6組～組

使用教科書：（中央法規「介護実習・介護総合演習」）

教科 福祉 の目標：

- 【知識及び技能】介護従事者としての職業倫理及び基礎的・基本的意識と技能を習得する
- 【思考力、判断力、表現力等】各科目の学習で得た知識を生かし、施設利用者の生活と背景を理解した関わりをすることができる
- 【学びに向かう力、人間性等】様々な対象者に対するコミュニケーションを積極的に図り、介護従事者に必要な人間関係の構築を図る

科目 介護実習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
介護従事者としての職業倫理及び基礎的・基本的な知識と技術を活用した介護支援が選択できるようになる	職員の方や利用者の方とのかわりを通じて介護の実際を学び、適切な態度と言葉使用で他者と関係性を育み、適切な表現を用いて実習記録に記入できる	施設実習での様々な場面において、なぜそのような支援が必要なのか、介護の本質は何かについて深く理解しようと努め、関心を持って実習に望んでいる

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学 期	<p>介護実習事前指導</p> <p>【知識及び技能】福祉の見方、考え方を働かせ、実践的・体験的な実習目標を理解する</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】介護実習の留意点を正しく理解し、実践に向けて考察する</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】学習に対する積極性が姿勢を考察する</p>	<p>実習の手引き</p> <p>実習の心得</p> <p>実習記録の書き方</p> <p>実習の留意点等</p> <p>テキスト・教科書・手引き等を用いて指導</p>	<p>【知識・技能】福祉の見方、考え方を働かせ、実践的・体験的な実習目標を心得ている</p> <p>【思考・判断・表現】介護実習の留意点を正しく理解し、実践できている</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】学習に対する積極性がみられる</p>	○	○	○	
	<p>夏季休業</p> <p>7日間の施設実習</p> <p>【知識及び技能】介護従事者の役割を把握し、基礎的な介護技術について実践的・体験的な介護実習を積極的かつ適切に実施する方法を理解する</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】安全・安楽・安心で健全な適切な介護実習の実施方法、利用者一人ひとりの個性や生活リズムを尊重した個別ケアについてを考察する</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】介護過程の学習を活用して、対象者の全体像を把握する方法や記録の仕方を考察する</p>	<p>施設実習（障害者施設）</p> <p>巡回指導を定期的にも実施</p> <p>実習指導者との連絡調整</p>	<p>【知識・技能】介護従事者の役割を把握し、基礎的な介護技術について実践的・体験的な介護実習を積極的かつ安全に実施できた</p> <p>【思考・判断・表現】コミュニケーションを積極的に活用し、利用者一人ひとりに応じたケアの理解に努めた</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】アセスメントシートを活用し、専門用語を使用して対象者の全体像を記録できた</p>	○	○	○	53
2 学 期	<p>7日間の施設実習</p> <p>【知識及び技能】介護従事者の役割を把握し、基礎的な介護技術について実践的・体験的な介護実習を積極的かつ適切に実施する方法を理解する</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】安全・安楽・安心で健全な適切な介護実習の実施方法、利用者一人ひとりの個性や生活リズムを尊重した個別ケアについてを考察する</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】介護過程の学習を活用して、対象者の全体像を把握する方法や記録の仕方を考察する</p>	<p>施設実習（介護老人福祉施設）</p> <p>巡回指導を定期的にも実施</p> <p>実習指導者との連絡調整</p>	<p>【知識・技能】介護従事者の役割を把握し、基礎的な介護技術について実践的・体験的な介護実習を積極的かつ安全に実施できた</p> <p>【思考・判断・表現】コミュニケーションを積極的に活用し、利用者一人ひとりに応じたケアの理解に努めた</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】アセスメントシートを活用し、介護過程の学習を実践して対象者の全体像を記録できた</p>	○	○	○	52

	<p>介護実習事後指導</p> <p>【知識及び技能】 介護従事者の役割を把握し、基礎的な介護技術について実践的・体験的な介護実習を積極的かつ適切に実施する方法を理解する</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 安全・安楽・安心で健全な適切な介護実習の実施方法を考察する</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 介護過程の学習を活用して、対象者の全体像を把握する方法や記録の仕方を考察する</p>	<p>実習成果報告 成果発表会に向けての準備</p>	<p>【知識・技能】 介護従事者の役割を把握し、基礎的な介護技術について実践的・体験的な介護実習を積極的かつ安全に実施できた</p> <p>【思考・判断・表現】 コミュニケーションを積極的に活用し、利用者理解に努めた</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 アセスメントシートを活用し、介護過程の学習を実践して対象者の全体像を記録できた</p>	○	○	○			
3 学 期							<table border="1"> <tr> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>105</td> </tr> </table>	合計	105
合計									
105									

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 人間と社会 科目 人間と社会

教科： 人間と社会 科目： 人間と社会 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書： （ 東京都教育委員会 「人間と社会」 ）

教科 人間と社会 の目標：

- 【知識及び技能】予測できない社会の変化や課題に対しての解決に向けての必要な知識を身に付ける
- 【思考力、判断力、表現力等】問いに対し「探究プロセス」を活用し解決に向けるとともに、新たな課題を見出し解決に向ける
- 【学びに向かう力、人間性等】人間としての在り方や生き方に対する自覚を深め、よりよい社会を実現しようとする態度を養う

科目 人間と社会 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自ら設定したテーマに沿って、地域社会と連携して、地域社会の充実向上を目指し、専門高校で学んだ知識及び技術を生かして、より良い社会の課題を見つけようとする態度を育成する	問いに対して、自らが調べ解決に向け取り組んでいる。また、グループワークを通じてまわりとの意見交換や自分の考えが表現できるようにする	地域の課題解決や企業の取り組みなどから、さらに自分たちに何が出来るかを考え、さらに創造する力を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	序章 人間と社会へ学習の視点～ 第1章 人間関係を築く	・「人間と社会」について この教科の視点と、総合的な探究の時間、本校独自の北校探究との関連について グループで「大切にしたいこと」をまとめ展示する	【知識・技能】 ワークシート 【思考・判断・表現】 ワークシート グループ学習 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート	○	○	○	4
	第1章 人間関係を築く	《総合演習》 ピブリオバトルクラス及び学年大会 ・事前指導 ・ピブリオバトル実施 ・事後指導 ※チャンプ本を決める	【知識・技能】 ワークシート 【思考・判断・表現】 ワークシート グループ学習 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート	○	○	○	6
	第12章 支え合う社会	・自助・共助・公助について ・支え合いの意義	【知識・技能】 ワークシート 【思考・判断・表現】 ワークシート グループ学習 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート	○	○	○	3
夏 季 休 業 中	第12章 支え合う社会	《体験学習》4時間 池袋防災館にて防災学習を行う	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 Formsによる提出物	○	○	○	
2 学期	第3章 働くことの意義	・人は何のために働くのか ・「働くこと」の意味を学ぶ 《総合演習》 ・未来の仕事を考えるコンクール	【知識・技能】 ワークシート 【思考・判断・表現】 ワークシート コンクール応募ポートフォリオ グループ学習 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート	○	○	○	8
	第12章 支え合う社会	《体験学習》8時間 北区区民まつりに参加（週休日）	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 Formsによる提出物	○	○	○	
	第10章 お金の意義	・お金についてしくみを知る ・労働と関連付けて考える 自立支援プログラム事業 (ライフプランニング)	【知識・技能】 ワークシート 【思考・判断・表現】 ワークシート グループ学習 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート	○	○	○	5
3 学期	第19章 主権者・成人としての権利と責任	・主権者・成人になることについて学ぶ どのようなことができるのか 《総合演習》 模擬選挙の実施 北区選挙管理委員会との連携	【知識・技能】 ワークシート 【思考・判断・表現】 ワークシート グループ学習 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート	○	○	○	5
	最終章 学習成果報告会に向けて	学習成果報告会に向けて、年間の授業等を振り返る	【知識・技能】 ワークシート 【思考・判断・表現】 ワークシート グループ学習 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート	○	○	○	4
							合計 35

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 総合的な探究の時間 科目 総合的な探究の時間

教科： 総合的な探究の時間 科目： 総合的な探究の時間 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組
 使用教科書： ()

教科 総合的な探究の時間 の目標：
 【知識及び技能】 探究的な見方や考え方を養い、自分の在り方生き方を考えながら、社会の課題と向き合い、解決していく能力を育成する。
 【思考力、判断力、表現力等】 大学関係者、地域の方とのかかわりを通して、身の回りで抱える課題は何かを見つけ、解決しようとする意識を育む。
 【学びに向かう力、人間性等】 自主性、実践力、課題発見力を育成し、次年度以降の課題研究や介護総合演習へとつなげる。

科目 総合的な探究の時間	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	探究的な見方や考え方を養い、自分の在り方生き方を考えながら、社会の課題と向き合い、解決していく能力を育成する。	大学関係者、地域の方とのかかわりを通して、身の回りで抱える課題は何かを見つけ、解決しようとする意識を育む。	自主性、実践力、課題発見力を育成し、次年度以降の課題研究へとつなげる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 オリエンテーション 北桜探究とは何か 高校生活での学び、探求学習について目標を立て、真摯に取り組む態度を育てる。	グループエンカウンター、学習について、手帳の活用法、講演、マンガラードの作成 他	【知識・技能】 ワークシート 他者を認めるということが理解できたか 【思考・判断・表現】 ワークシート 高校生活での目標を立てることができたか 【主体的に学習に取り組む態度】 グループワークに参加する態度が意欲的か	○	○	○	3
	B 単元 言語による分析・まとめ・表現 図書館の活用法、わかりやすく伝える方法を学び、そこから探究活動へとつなげる。	(1) 図書館の活用 (2) 聞き取る力と書く力、読み取る力～絵の読解～ (3) ビブリオバトル (4) 意見を深める～マインドマップ～	【知識・技能】 ワークシート図書館の活用方法・わかりやすく伝える方法について理解できたか 【思考・判断・表現】 ビブリオバトルでは本のおもしろさを表現できたか 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート図書館の活用について、わかりやすく伝える方法について、まとめることができたか	○	○	○	6
	C 単元 探究の基礎・基本を知る 課題設定のたてかたや、仮設の立て方を学び、そこから解決法を探る道筋を理解する。	(1) 探究について (2) 仮説の立て方 (3) 仮説から解決に向けた考え方について (4) 今後の専門科目との関連について	【知識・技能】 ワークシート 情報の処理方法について理解できたか 【思考・判断・表現】 一人一台端末を活用し、表現することができたか 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート 情報の処理方法について、まとめることができたか	○	○	○	4
	D 単元 他者との協働 探究活動に向けて 研究について、実際の大学生の講演を聞き、「研究」を具体的にイメージする。	(1) 大学生の研究について知る (2) 探究活動の流れ (3) 問いの立て方	【思考・判断・表現】 大学生の講演を聞き、探究してみたいもの問いを考えることができたか 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート 自らが取り組む「研究」についてイメージすることができたか		○	○	2
2 学 期	実践探究活動Ⅰ発表 自らが学びたい内容について各自が調査をし、共有することで、視野を広げる。	(1) 進路に関する調査 ①調査の計画②調査③まとめ 実践探究活動Ⅰ ④発表	【思考・判断・表現】 職業とそれに関連する進路について、考えることができたか 【主体的に学習に取り組む態度】 発表 進路についての各自の探究をわかりやすく他者に伝えるよう努力をしたか。他者の発表を聞き、自らの探究につなげる要素を発見できたか		○	○	6
	地域の課題改善 SDG s SDG s について学び、持続可能な社会のために自らができることを考える。	1) SDG s を意識した地域の魅力 (2) SDG s を意識した地域の課題① (3) SDG s を意識した地域の課題②	【知識・技能】 SDG s の取り組みについて理解できたか【思考・判断・表現】 SDG s の取り組みを知り、自分なら何ができるかを考えることができたか 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート SDG s を意識した地域の課題について考えることができたか	○	○	○	6
3 学 期	実践探究活動Ⅱ 研究者の講演を通して、地域や自らの課題を考え、解決へ向けての具体的な取り組み（課題研究）の内容を考える	(1) 研究者の講演を聞く (2) 地域の課題解決 ①調査の計画 ②調査 ③まとめ	【思考・判断・表現】 研究者の研究への取り組み方について自分とどう違うかを考えることができたか 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート 地域の課題について考え、具体的な取り組みの内容を考えることができたか		○	○	4
	まとめ 年間の取り組みのまとめ 学習成果報告会	1 振り返り (1) 自己評価 (2) 課題研究に向けて (3) 学習成果報告会準備・発表	【思考・判断・表現】 学習成果報告会で学びをわかりやすくまとめ、発表できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート 1年間の学習を振り返り、課題研究について考えることができたか		○	○	4
						合計	35